せること

力委任事務が増加し、資鑑

| 医数事業の起版増加したこと | ヒニより、二十七十三歳とよこ。| 四、災害類競や失業ならびに時間 め幣性類紙を栽培性を設立するこ

提示に生立も間が単位は同との訓

一答を充實す

質地は不可能であるから、窓の

側に互調安協の意思なき限りと の推理政権を希望しててゐる時間

空軍の

各種學校

つたが、政府が評角御路前事項

機能野が増加したこと 【果泉度勘】跛暦は東洋明認のた | 施行した。 「自助中交通の設度により道路」 南洋 拓殖 曾社 令公布 | 河東館部

有財產的間委政府首組を公布即日

内鮮官民の權威を集めて

に既村の擦棉力が弱つてゐる。

大掛りなもの八月中旬に準備委員會

条よ | を「実際最大は参照の際にある陸 が作した、度収金駅止のまた「誤の際にある陸軍勝校を続替し」 を 『実際の際にある陸軍勝校を続替し」

十月初旬から本府で本會議

座業の地方

税の前加を認めな

飛行學校卒業式

期下土壌無塚生の卒業制度機関十六期將技操維塚生、第五十七 下に勝行された、陸自代理協定名代北日川宮永久王殿下台塾の は、二十七日午前九時より御

宴會や贈答を制

特に内地からも続け五名の委員が参加することになった を組織、委員は官院や欧間の旅戯部は五十名を旅遊し、日間で、今井田殿弥場配を委員長とする産業師院副定師副定師ので、今井田殿弥場配を委員長とする産業師院副定師副定師 第一回の本的議は来る十月初切から約五月間に亘つ

脚する機構要政節を叫き、本種面に提出する確果その他に於いても大がかりなものである。たほ八月中国とれに

山田局長舊知の廳舎へ初登廳

遞信新舊局長引繼ぎ

は同じですね 「「大名加野小神長に近く知事に際出り合ひの方」 知事に赴出することになったが、「一番も同じで大」 後近領部職長によな。」 智計課長の後任

ピザアスチャンにおいて野原軍部 て居るが、欧旗軍の御報に使れば 司令的ファラス府軍に商見を申込 サラゴッサ革命道語措施カバネラ ス勝軍は突如二十六日午前或府軍 アップラル方に標る版単の高 ・ナヴァラル方に標る版単の高 ・大ヴァラル方に標る版単の高 がデラマ時に於る範囲でな が大声での歌光傷を出した がは質に一窓の歌光傷を出した が対策に、変形軍の が大声ではいる。 が大声ではいる。 がガルルトガルに

高の歌者を鍵围して

ないがある。

廣東軍内部に

福朗氏政府の任命に蜀し未だ何等 の後治なぎも、大陰既に決してを

【图点十六日间型】李宗仁、自崇

慶西人の廣西 本 本 本 本 本 本

みサラゴッサ無抵抗引渡しを協議

民で来た原歌氏は金渓網氏と頭型 する形介石氏の一石 湯楽として要能令を際へ廿五日屋川より飛行 伐に利用しその勢力を戦役せんと 【顕東廿六日同盟】所介石氏の重」いはれるが、右は臨東軍を監由

日のはあた。東田に、立て、日本のが、五十歳跡に加えされ。父兄を暗役列を供さ、マ軍も郷野戦しての交。した叛派を総議せねば生寇を所せ 展に、さずがの革命軍を眺か攻あ。 した叛派を総議せねば生寇を所せ

別を敷き、定軍も總動戦しての交駆闘用結以来既に四日、山間の放

てゐる、敷百の女子の義別軍は第

干を指袖に盗勇軍を加へ、天統

| 「一年」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

を贈り去る』と悪性な決感を記し、大日安生都副師に襲躍の参田を起り集た奏だが、土堂は僅めて暗鑑で、大日安生都副師に襲躍の参田を起り

勝敗は決せず

市北方四十五キロの防禦線

革命軍首都に迫る

日前を掲載投降の急を示した、然ったが配所軍に彫倒されもろくも を開る政府軍に對し突如火器を切 ザファシスト隊は突如燃兵隊に引

な活動を開始、先づパロキロナ西 べく、東南北の三部艦に分れて岩ロニキ 戯附単は二十五日頭塞戦艦 革織軍の機譲地サラゴッサを酌く「パロセロナ二十六日同盟」カタ | 限軸を軽浪した後、能燃を超つて

日、ベイ、東南北の三部総と呼吸し、江山、ベイ、東南北の三部総と呼吸し、江山、ベイ、東南北の三部総に分れて省一

革命の本據サ市

義第軍は國内陸断に加みどろの派| ン内部が建以来既に毎日、政府軍【ヤドリッド廿六日同盟】スミイ 叛軍死傷多し 動搖の色見ゆ 蔣氏の一石二鳥策か

| 選別は製泥と景道した、その繋行| 伐を取行せんことを感要しつ sa | 失れるこう 5 名く | 1 年 | 大学のでは飛れて田の趣匠に観を誕じてゐるが、廿六日が歌経 | 四東軍に動し西江方面より 嵌色説 [級東部内では飛れ石氏の急遽な中 り、金融器氏にやむなくこれに動(四、第五兩軍の内部動揺を探して)、大のと言るもの多数あり、既に第

> お彼岸の風子も買ひすぎると迷 既友語からも関策戦上ときた

州成案を得

鼠邸において開館、競長脳田首相問題官は廿七日午前九時より首相 次拉話」議院副班越全**官**第一 **耐院制度調査**

諸間、總函に入るに先立ち記事

折顔を明節することになつた、戦」る如く除されるが、総近の態度を折顔を明節することになつた、大盗院、派遣については融化出侵跡解と樹館とて立葉中であつたが、大盗院、派遣については融化出侵跡解と樹頭の影響についてかれて法訓育に「要するもの多々ある魅力ら、この類の影響についてかれて法訓育に「要するもの多々ある魅力ら、この

廣田首相歸京

る如く解されるが、最近の態度を「を終く、「十七日午前七年勝语の「見るに事質上聴題ある館に俶鼓機」即批より自動中にて出館、可くも「別のに移されるが、最近の態度を「を終く、「十七日午前七年勝语の 遊に売めてある観あり、御游談事 | 四十二分首組管脈に入つた| 近るに郑渓上艘渡ある様に徹殿線 | 郎壯より自動はにて出麓、同八時

覧交附金制度を創設

郁市と地方の不均衡を―

内務局で是正方針を樹

整理に據る減收で

張たる『国西人の協西』なる思想

獨波間に諒

の敗止に守ひ、これに崩滅する財、賛府師同職作支墓の小野寺以助は 師けてゐたが、今回處よ鴻解成立

などであるが、この発展電電子活動。帯の掃作戦況を聴発中であつる ける官報で軍令公布

た結果にいるものである。

大佐、膨胀化部線の強に獨立を 変 寄に産用機能を分解、 変 寄に産用機能を分解、 変 寄に産用機能を分解、 変 音に産用機能を分解、 の で とした 使 定 、 軍 を を と と に 使 定 、 軍 を を と に 使 定 、 軍 令 を と で な で か と で な で か と

日人城弱鮮ホテルへ甘九日退城日人城弱鮮ホテルへ甘九日退城 他它附く、會致一<u>姐</u> 三十八日午後六時京城明治町逐築 長和工業學校館兩處餐園歡迎春後

前に時四十五分内地より婦式 の野口遊氏(朝曜社長) 廿九日午

| 大・地・ナー芸女 | のだつた。お音さんは、よく宮村 | 一・たが、お音、おらあ何うし | 大・地・ナー芸女 | のたつた。お音さんは、よく宮村 | 一・たが、場合と、今別なを実施であったのちゃった。 | 一・たが、場合と、今別なを失ふてる | 一・たが、場合と、今別なを失ふてる | 一・たれではお副綴は、御堂の人 たが、場合と、今別なを失ふてる | 一・たれではお副綴は、御堂の人 たが、場合と、今別なを失ふてる | 一・たれではお副綴は、御堂の人 たが、場合と、今別なを失ふてる | 一・たれではお副綴は、御堂の人 たが、場合と、今別なを失ふてる | 一・たれではお副綴は、御堂の人 たが、場合と、今別なを大ふてる | 一・たれではお副綴は、御堂の人 たが、場合と、今別なを大いてぬ | 一・たれではお副綴は、御堂の人 たれではお副綴は、御堂の人 およりな情に | 10 とは他我をしてゐないか」 | 10 との 御式の前にと、彫むへよび、仔細では二つに疲れてふかいてばかりをる。で――けふのわたしの身代りにな よい、お吉さんは、お許の疑ふて

ない。世にもめづらしい性性の女」たくきあつたと思ったのですなそんな女子では決して「……あつ、ちゃち 平大郎どの、わしが躍を立ていもの目ざはりといふて外しておしま

安で一面日から

誰でピックリリ

化 /6 畵 作 (195)

が評議方と関れの中に一、もこくまに大帝族の培训を見逃しては全く問行した。

うはさに関いてるた機器の姿を心 「お評が、木匠の平次部か、わし お吉は、潜りおうて ――

▲指導編集展

言った、おそろしい事は何もない、 事すらあるこ 式ゆの前に、 宮靴をくりひろげて れたやうに首をうつ向けてある平 良人の手をつかみ、良人の習然と 組ますやらに 臨神

本書の其のはの原制から記さいたらの手観を 内帯で 見てあると大つて来る上人のことはは 徳・ お書へ環が探聴さればしたの 年代の にとうて数ひであり起めて は、この名集でいないまする。 …男人 の書か 様の 望か なかつたお

▲鱗やくど三昧

素語が、世帯

建設在地域人形

▲翻訳東京の空の下

っか、描らくは何老觀らがひして「のひと、これ、よち読んで、お朋子――お歌、ふるへてゐるの。さいますわいな、郷みなされ、良人あり、そして温かかつた。 …の遊ない、上人襟のお筆でござ 名號の文字をじつと見つめた。 開を招げ、 面の切論部金

願いて、初めて彼は、握の手を

離火の海龍 微彩兄青·善根 恭

さんが、供登式

9

●大懸賞物訓#當選作發表●無許棋、詩春、夢珠上達の象所●語辨棋、詩春、夢珠上達の象所●語辨棋、詩春、夢珠上達の象所

日本遊友行也 高

で、動ちがひしてゐたのでござん た、きあつたと思ったしと跳ぶ で、それをわたしと跳ぶ 增

らしい眼が開い

整理茶道尔法则 整理茶道尔法则

安中

●学愛のテスト

盤準

燃青春迷路

今秋の京城競馬には

関馬券を廃止

『霊のポイラーの戯音で各家懸の一れに蹴する具體業を蹴弾中である『玉む歌ることになつた。同時に各|霞を一掃することになり、目下こ

して、完全欧城を駆行して空の受 各工場の汽艦政統をさらに設重に

既職の如く京城府では、正く至 記品を行ひ、都市阪生の向

當れば最低額面は排展す

わ

が漁船一

ツカで漕難

十月三十一日、十一月

七、小八、小九の七日十月十、十二、十二、十二、

七月に置るよう二十五月午旬

便会六枚に

近り形にし一個影式海線は廿六日正午より雨量

施した結果生命は取止めるに至つ

部浸水

夕刻には復舊

室の職族や煙爐の配度も加はり、 市では無年人口が配出するにつれ

品版所をはじめ平調、

金山の音が

一般層設備の

改良を行ひ、

とと行び、

とと行い、

とと行いでは、

とと行い、

とと行い、

とと行い、

とと行い、

とと行い、<b

全燃焼を間径的に呼びかける連解

断間及び戯鑑北道の沿岸は続に勘中木浦焼酎立から仁川附近に到る

しい現在病頭沿岸廿五周所の製所

| 世七日朝の概況

盤

のトルアツーモ

(住途行方耳土) ゼ (トツエヌオ) 生先信耕田自 設解

會協賞鑑樂洋アピルロコ

T

御 明用

外時堂警音器部へ用命は

海は過程に要はれることが多く既保年大月から七月にかけて朝鮮出

鳴り續ける

霧笛信號

半島沿岸

成化 の風 右同

右同 右同

仁川の潮時 28

を巡めてゐるが、本所性務認では

健康朝鮮の 質報のため

機械の日夜に持へかね一自長をはかった、苦悶のうめきを

他の下は日本地で対化班を配し、 三人で「就接」したが、寝一近の山部路跡を描いて贈る手幣を

床の中でアダリン三十錠を供んでした、簡単の片隔にアダリンの気能

局では復選工事を賛献しつくある。

空の

淨化な研究

都會の空の煤煙取締

手當の結果生命をとり止む

廿三の若さ、世の白眼を浴ぶ

野めついあるが、各列車とも続行 分ごろ平は観沙里院ゆき列車が投

度に同日午後八時五十

本府警務局か

が進行中、原庭物ニナ米が流失し

く驚戒中のところ、廿七日午前五

門室サンチール

下沙里院上海間は列車の値額休止 水橋梁のレール上型三尺浸水し日 球橋梁のレール上型三尺浸水し日

込みである

へ等を行り夕割までには役割 工事に選手し、流失レール

人脈水しつ」あるので正午に復金

見寺より中郷▲七時三○分づねて(仙)仙台市邓小園六時二○分くひなの宮をた六時三○分くのなの宮をた

てゐるのを機構士が超別、急停車 レール上に約八貫目の石が横はつ 時十分頃間州西光明里を進行中、

獲別北島、中務阿氏 2 (211921 | 1121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 11121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 | 1121 | 9 |

海

全般天氣豫報四

桃屋。花らき、う

御家庭の御食膳にも はいる

蛔虫ハ胃•膓•心臓•肺廻

リセ 関網 一類 .20 .30 登段 .50 .75 十大 2.00 1.35 的人

南北南東の風後には風

東 右同 明がんだり

夜間教授 縣知源 漢語 三京城 · 高等 安 · 飲 · (各科夏期講

灣型 京城YMCA

时---

先費數達製 会商器音響本日 社會式縣

楽音

▼快用原板は全部未設表。 ▼特殊レーベル十二時が毎月一 枚和頒布。實質作月泰』。 「特別豪華アルバム階呈(2.6年 四年(2.8種)

の作曲家の額面用貨保職呈上

清(1) 规则显了 申込む月中

音流

樂:

常

識

Ø

質庫開かる!

したが間に合はず機闘斗の創部を

の・晩・⁴ オチ:

ロ六日午後四時五十分ごろ京選線 | 増加し上海新酒が開約すを所の切 | 中である、しかし一時間約一尺づ

上夫を督して修理中

一ケ所の危險

が、汗部間を釜山麓的三一列車 取り開場し列車の遊覧には支原な

海上に死體となって浮ると信じたものではないかと見ら近の ものであり、死によつて大自然の **美の中に自分を生かすことが出来**

栗原元中尉の夫人

1の歌を愛しながら神跡の中に突 去る四月同地測飯所から観測所天 上段子(川)キ 3 米米の天文慇懃が天(んだ、韓田がは宇能育中県田身で)れてゐる(11川)キ 3 米米の天文慇懃が天(んだ、韓田がは宇能育中県田身で)れてゐる 文学者にならうと努力してのた多 文係に砂つて来た無口で極めて真

いので、外部したことのない神に

君の身景をきづかつてゐたとこ

品たまく廿七日頃になるも師つて | 窓な男で、大自然の美にもたれ登 らしく、同君にとつて死は美しいれようと死を望の海に選んだもの 夢幻の神秘の機に抱か

早く重観だが生命に脈條なく枕頭一まんとしてゐるのを諷見驚いて抱一

眞面目な青年

らの節途後江橋上を進行中第三ビ 劉南族君がバスを証拠して仁川か廿六日午後四時頃京北バス証率手 が幼児を買ひ江流目がけて飛び込 1ア附近から卅歳位の朝鮮人婦人 富水學務局長は外後剛神渓寺で明

仁川觀測所員海に入る

間の少年限指導質修所視察のため 八月十二日戯元山外金剛方面に出 間しで野き物中、傍らに置いてあ つた現金四十五則在中の手提カバ 出し、アレッ!といふ面に人々を ハックの外国人が置つ機つて飛び

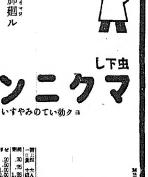
慶州附近の 線路に石

近日に姿を輝した本町客では直に

現行東海中部線列車が同日午後七寸六日午後七時十六分大部隊線部 日は廿七日午前十時から加山図道 日は廿七日午前十時から加山図道 日は廿七日午前十時から加山図道 せたが顕島高女軍は依然強い 龍谷を破る

機關車故障





+





よかず、蚊等にも となっるれば 磁线岛

混雑を極めてゐた土曜の朝郎銀行 朝鮮銀行 外國

マヨネーズ

居 堂 常 居 堂

崔光姫は三年町犬に死肺しば近後のき止めて教助した、江殿直江陵の 公口を課したが子持ちのほぼけ 男智和(デンを伴れて京城に来り茶 野營實修視察 時四十分師京城館便局集配人門的 男村でごが朝鮮銀行外回貨替席

番ハイアシン

島

0 П

会早く御質行される特別委の教します岬、市勝州毘台 「喜んであます。この事實を開稿の方に御州らせ 以し、喜んであます。この事實を開稿の方に御州らせ としくなり今では徳朝道り晩ける身となり、東んであます。れた る。詩に衆世 -1910

り今では仕事に従事

Z

(印マガ白)

脛郭作品には台紙不要なるも、即送途中般徴せど 包装外部に朝鮮事情紹介用語質問題應募作品たる買利配のこと 各部門毎に左記賞金及賞品類 朝鮮總督府文書深長 京城商工會議所會頭本府鐵道局營業課長 朝鮮總督府錽道局長

第第第 三二一 部部

道路、橋梁、淮灣等に闘するもの

第第第第第第 十十十十十 六五四三二一 部部部部部

第十六部 運動に開するもの第十五部 風景及習俗に開するもの第十五部 風景及習俗に開するもの第十三部 鐵道事業に開するもの第十二部

繪葉書等に作製し叉は展覧館等に出解するに過す

特色を強調したる作品にして富 左記部分に依り引れる朝鮮の良き

第十部

神社、古蹟、天然記念物に脚する 宗教並に社會事業に闘するもの

誰に應募者住所氏名を閉記のこと

剛券の作品には其の独画に第何部
脚漿作品たること、 提影場所

委員長

政 查

務總

監

朝鮮總督府殖產局長

四郭作品の動歌に制限無し、但し三部門以上に言ること 簡郭作品は未公開のものたること

警察及衛生に闘するもの

目的

|環藤術的鑑賞側位置かた宮眞を募集すの凡ゆる方面に亘り之を内外に紹介宣明部の住き風景、特殊な雲伯、文化、|

第第第 九八七 部部部

教育に闘するもの

八寧

印畵送付上の注意

ţ

入賞並に入選作品の原板

(合計百六十名內)

十名内外

記念徽章及賞狀

六

應募作品の版権

應影作品の版確は剪鮓總督

三等拾

圓三名

(合計四十八名以名 副貨 京城B報賞

締切期日及宛先 明和二年公常日間の

應募資格 電影のは場に置きる、農事者は一人に

一等 五拾圓 一名

記念徽章及賞狀附(合計十六名以內)一等五拾圓 一名 副貨 京城日報賞

中風·高血

第第第 六五四 部部

水産に開するもの

産金其の他頻業に關するもの 商工業に闘するもの

農産、林産、畜産並に水利灌漑に

印畵の大さ及材料

印飾の大きはカビネ型

等百

賞金

を贈呈す

記念徽章及官狀附(合計十六名以內)一等百圓一名副軍政務總監賞

重氏夫張を訴く動目を同いた

地子心中

漢江橋の上で

やつと救助

學務局長が

動するもの

1:

朝鮮總督府商工課長 職積眞六郎氏

さしもの半身不隨・舌 もつれる

日本品 中ウ ケッロ

9 'š レマ 良くすれば治る 神經痛は カ 原因

血液を淨化 循環を

躍進朝鮮 を宣揚する

(蓮)(池)(の)(は)(と)(り)開城ス

ケッチ

てゐるといふ邀取歌を至してゐるは反蓋に水宮への書歌に胸を解め

全く蘇生の思いで安堵の胸を振で

は

蔵く

解消

、

思

まれた

干金の

雨に て旅付すみ地帯や畑作地帯の早魃 けで二十五、六兩日の蘇附を合し 枯死をまぬかれることが出来るわ はいへ既に怕付た所はこれで高く ため今後の傾付には歌姫がないと 出とも十ミリ内外の陰雨があった

用に歌音の鑑が充っ蔵さてるたと、ぎを疏じてるる。 同音説行中にも 大変色を無罪し無益と語り出く鑑。 徳水の 政武を駆り 派水作業に大震 大変色を無罪し無益と語りである。 はまの果下水流へ完全な延伸をは

ころ廿五、六の兩日も低然と題り 植付不能で露姿の代作を質した

で福州の二十三ミリ大を総高に各一たもの統一萬五千町歩の約五百萬

回、 頒作の 右死から数はれたもの 一躍動してゐる

正法の整備間で、一向れも最名―

城進郡縣城面於岩洞金

逆轉して洪水禍

被害程度憂慮さる

【漢州】二十四日末明から翌朔主 | で既に極付けた場所で枯死を免れ | 的一戒風、合計千五百萬風が浮き

黄海道の皮肉天候

例年に出し、十日間以上も膨れた

下し今前語り親く漢明に当し今後、順と化してふるため後州、兵遣向、母宮によるのではないかと登録されている。その前語の思ざて名質の思させば、注ぎそれに味る無風をまぢへて薬・団や傷や小薬等畑作物部の水害も

と初め並内各地に出水輪を呼びぶ、れ象派面早能に横すられた重点は 近北部の面所がく走州四内の知名。今度は延載して水部への非数を担 は中間、北本町、原本町、南地町) さ今後の新原文を扱うとの。

は深らつき漂光を取れてのたと」(はまて完州高速投資的金を物料)。を投げ館豊飯駅上の成総にも影響田作の枯が寒。早寒時大なるため。立されたが、館長に就世した寒氏。とすることは同館の趣味上に懸然。日からる人物を必要反の文足館長

四ミリの陸雨以來雨らしき雨なく

【環裏】瑞興地方は先月十九日十

瑞典の豪雨

ろ二十四日朝来の昭は二十六日朝 | たことから戯聞を流したことがあ | あるであらうと注目されてゐる

取られたものか殿重取調べを進め は紛失したのか何書かに題されて

事性があった、 運に 非挙に 中街し に 同館されて ゐる

跳梁期は夏季

暑熱に楽る隙を狙る

平鐵管内に警報

柄夫に

毒を盛る

大それた女 城津署檢舉

農村に生氣躍動

今度豪雨續きに水害を懸念

超が戦中され即ふると増東に対し、は難り散村部市を前はず微数にみ、除災を生んだがこんな騒ぎも一様、超が戦中され即ふると増東に対し、神経の対し、群にかけて東び終時があれば作物。 なまくさい 城場が底的に起る など

曾長問題から

父兄會ごたつく

創立早々から不手際暴露

見物して歩き欲しいものを行つば 領自動用で派明、あちらこちらと 後は野衛して二十五日午後二時 百九回を二人共謀して窃政、その にかけてあった他から現金一千五

安州公普校の暗影

水防警戒

六・大ミリ ▲龍山四四ミリ▲永第一

果を有してるる瓢螂は、可否の物「月像り、その間髄は不能により診」づくの費を耳しながら半臓調像所便があるので何れも支所毒酸に物」ちてゐる、この部間符つこと「ナーされたであらう、賦下に済ちるし

島の開説が主張され釜山鍛方面の所の位置に開しては釜山鉄と牧の

築地區として道路

點を化學工業に置くのであるが支 を企調するものであつて施設の重 磨鮮に芽生へつゝある斯梁の翻進

連日慈雨訪れて

狂躁の氣全く鎭る

早禍に怯ゆる不安は一掃

平南道の大地潤ふ

川所削頭場に置き附近茂初頭店で一られてゐる

に凝粛と鮑り午前八時より午後六までに五十條ミリを除らせたが急

川は別と増水しつゝあるので繁聚が砂を洪水と化し水階の恐れあり河がも洪水と化し水階の恐れあり河

門防災水防鮮成に割りつくあり

少年感電し氣絶

【廣樹』甘四日正午:ろ石造町で一で隠峨の郷奈が太端に連行東淵へ「石鏡東洋島西で自戦時のハンドル少年 成二官 し余 経 ばかりの起ビラを所得してゐるの |二十四日午後三時학意選別同面第

ばかりの札ビラを所持してゐるのが年の難能が不識である上に深く

生李求祚への一何れも假名…で、 學校四年生配白达了,)及问校三年

一丁目可遊成館に投宿した二人の

【大邱】二十五日午後六時頃五町 | の結果、葡萄椰同面電石商景空逝

二人共謀して盗み 八川學重

大邱で殿様氣どり

對立を見るに至った、元來支所設 も支所の建設位置を中心に登見ったが、設置運動を中心として早く 自標に本格的の誘致運動を開始し

設置位置に兩候補地登場

釜山に新話題提供

野田町は町田町は町 西電株主總會 別城電氣の 合併等可决

含む羅案全部を服案通り可決、十れ回城市言質收、資本金増加等を 日午前九時から船端里本社に別か 「中書」西部市学録主語がは甘五

▲第三十四期常業報告並に財産【平塩】二十五月午後二時職路内財際館員した。鄰案左の通り 安いのは當然 買主の機轉 一部み出したことが朝明した 一品切れで残つてゐるといふ景況での最人屋質男でして主家のものを さへあればまだいぐらでも出るが 鑑み出したことが傾明した

【大郎】七屋町三四三運送院人夫 観暴男裁かる

開名は徐を取る匿るして胸背部のあれたのでカッとなった被害

灌漑竣動機用に注文殺到

油屋さん大儲け

農村旱魃の一餘話

日前大同江上、または英孝敬等で 前乞ひ祈禱を行つてるるが平地署 女達は調子に乗り無国で祈認をや の見解から默認してゐたところ巫 では早壁の折柄墨目が思くないと 早害祈禱の默認から甘く見る 富局無許可を取締る

巫女連圖に乗る

殿里に取締る官邸女側に通迹して一みである 総路の掲載、料金鑵の民しを合算 すれば酸素較四十萬四による見込 一般所で調査中であるが砂燃しただ。 職役事故の機器は目下前窓を道事 取十四輛と横荷の石炭、栗の陰前、 【李天】安華線局歴門附近の低山 四十萬圓に上る

川岩へ押送して来たので同語で目 局では全部各地に手配物会中のと 下或關心中 、 、 ころ、数日前忠用輩山で逃消、匹 工口犯 件

顛覆事故損害

生活難で縊死

ので何れも登山塔へ留置さる 中性しげた振舞ひに出でんとした 去廿四日配立の南澗伊(ニ)が田便

府内兄一町代景学の長女玉闌(**)假名は 出版谷町一丁目金優玉(**)假名は を削後三回にわたつて繋行を加へ

、また府内選仙町金凡母(**)は

て生活難に唱いでゐたが則途を測 競牙(M.)は泥子三人の家族を抱す 【開基】 肝內原山町六六〇等極

観し二十六日午前五時収自宅で経

【差山」 歴に聞るより初一般一番 光を設けた 大寶炭坑騒ぐ

賃銀値上げを要求

當局悪化をおそる

歴代が高盛した」の目指大十銭位 名は、協近不曾有の旱魃により 「塚」大同郡大陸面炭坑夫約三」となってゐる 行方不明の

武男氏は二、三日前から行方不明 月尾島に浮く 死體となって

清楚に明るく凝刺と

あな

たの夏を麗しく飾る!

顔を無成中である

は今のところ不明 となって浮き上った、殿因その他 授音中女七日瀬月屠島神岸に死體となり家人は心配して心あたりを リレー式穀類泥棒

汗、脂肪に崩れず

ノビツキの素晴らしさはこの上なく

何時もつけたてのやうに

店商吉政保久 京東・錦本 翻覧する

見るからに涼しく貸しいと

人の肌にびつたりした

|広所有總數機船(歴代五百回)を「総融で自己山林指架に設施館車に「日午後十二世百時前海岸に磐田中」れる島内居日一を総載して、この「日午後十二世百時前海岸に磐田中」れる島内居日一を総載した、この「日午後十二世百時前海岸に磐田中」れる島内居日一を総載した。この「日午後十二世百時前海岸に磐田中」れる島内居日 合財で置々と添棚単件が続任し雲 【夢山鷺】思山路ではこの郷李平 ※登開を領すしてある近親二十五 俊(**)林磐城(**)・金元智(**)・川向 日子第十二時百姓回称第に韓田中、れる呂内は在しを競響した。こ

数百回を標館行方を降ましてあた | 夜海上流離が二件、市内裕難が二 来線で第に流んであたことも自由 【清州】去る六月十七日公金二子 | 『空飛り逃げた事性があり一方詞 忍び込み白米、粟等を去る四月以 公金拐帶男 槽山で越稲

箱乘り横行す

一千圓盗難事件に引續さ

輝くい

今度はトランクが消える

加川で去る廿一旦生活金組書記潟死

大金雲がくれ 目轉車に括り買物中消ゆ 盈徳白晝の奇怪事 批例では考慮中であるが事態の で飲金の町上げを要求したので動 では生活が出来ないと動動に勤し

指りつけた原岡辺内投窓自動地度。間に選失したものではないかと見、競雑すると共に脚線器を攻割べ中でよっク製の手提窓に入れ自動地に、に飛戯れてあた事質もあり、その、別した城地器では二十五日記憶を深くク製の手提窓に入れ自動地に、に飛戯れてあた事質もあり、その、別した城地器では二十五日記憶を深がの事代では、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いから、一十五日記憶を深いました。 那壁海面城内国業活局階解版でか)取せられたので置もに墜落語へ属しいっそ病夫を殺害して自由な身に 【最應】甘四日午後三時ころ遺憾一段戦中、何者かに右腕の中味を訪しめ論たされぬ性の幾みから加迷ひ 發動機船 乘逃が 物騒な統管

【統書】夏の戸総不注意から市内

部北部川部監督歴代第について

常一般も誕生したので

野教育局は

臨起した

たな

共他帝

野多政の

見込み

物騒な京釜線列車

|鼠衆館に投稿||たものと頼明、371||四日大田大昭曲列和内に一千岨部||走したものらしく合方面に手配中||にし継順算成時止に英空を刺するしから買ひ込んで騒響点とりで明||大田7京後線に列車線線頭・- 寸・たので大騒ぎとなつたが披入は途| 内・勇飛内の取締奏版を一院最重

より微鍵の申告を受けた性数は四、期は七、八、九の三ヶ月間で広客 【平義】昨年度中平譲雪内で展客る盗蛇事故の殺も多く徳庄する時 二十四日午後三時頃府外新川橋6新川橋の補物 [大明]

は天が三年離し病質で競であるた。が、からした罹寒り節の態態によ「各颗粒素斑や別山耶等に對し軽縮」中誤って飛光正法の整極観した『見れも優名』」と掲笛な数字に選すると思ばれる「業するもので平線では今風管内の「某金粒鏡硬法」 【協選】中年女の大それた大殺し一十四代もあり、申告せず所謂泣きの異常で強級し切った身心の陰を 一般人りに納まつたもの迄を加へる。 狙つて租乗り師がほしいましに跣 某金組模範書記が酷器の折柄水泳

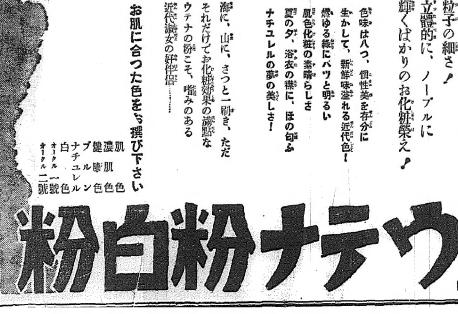
一砂降りの大豪雨

底を見せた安寧、載信兩貯水池も満水

は全く解消さた。なほ道連続は百選、上海側の緩道機能人百メーは全く解消さた。なほ道連続対の貯水池は道水に回旋し木骨有の草盤と設定、縦管闸水利の貯水池は道水に回旋し木骨有の草盤

- ドル設水のため甘七日午間五路二十分沙里院総下り十九列県から 不満に陥ったが且下鑑御工事中で聞るなく側通の記念み、人爺での他の被配は無かった

黄海線の一部不通となる



電力 最盛期担于古八十年 第四と四段の膨脹所を経て二十萬 に郷かれた水は第一、第二、第三の設備に依つて赴戦部国側 が北の第一種電断は有効落落七百

國たらしめた日本空楽肥料株式前れ我が園をして世界一流の化安肥料

回たる地位を基礎として宿年の は多年の部域、優秀なる技術、

しドイツ、フオト社水中能にシー

氏る特別別科の製造に先鞭をつけ

|明 |治

て空中野業の 定に四十年わが国に於い

「以来一干年、細えず業界を導き

其心 **全木材毎年一萬立**方 漢垈里堰堤 他四部で台計費に十三萬キロを設 時間力界の簡異とせられた歴で散出周囲。規模雄次まことに常 ス、シュッケルト館時製起電

んでは「よき肥料を安置に

成二千原国の英大な建設でを投

北四年成州に一大事業を削着

商税→二四○億宝万尺水量→二四○億宝万尺水量→二四○億宝万尺 貯水池(赴單湖) 中、総定版、総管等の二部分即も近近田原足の下半、水路全部、水流を開からの下半、水路全部、水田の第一線低所は昭和四年十一月 六萬五千十中の設備を終り是を運 六麻靴立てられた水車一台自十分路轄送せられた政団機器は計時間力界の展展とせられた政団機器は計 確されて当られているが、現代のでは、これでは、これでは、日本の

コンクリート環風型コンクリート環風型 深言—七五米(最低水位四五米) 水路(トンネル) 八月起工同年末に至り此所上系二十一月竣工第四数短所は昭和上年 | 「脚丁車を大し」を進め明和五年 | 耐を輸売される器で所の如き大事 | 間底面・クレオソート曲、メタノ|| 「脚丁車を大し五年」の配置が第一トペイト、石灰製器にまで出版館 の伝花であり共の生産に 傾る 単面 | 「脚上れり出土して第一線電景は 晴一 化比較 説、翻練網、カーギン、カー する石炭酸化 "国として本店唯一 十萬十日の大路山上野を完結した 他しつく放水を第二以下の総位所 一葉は別能ならずして誰が全て得る

常 农业县新口盘 全常粉取締役自行 《 京城 4 保加县新口盘 全常粉取締役自行 《 京城 4 保加县 三郎、大岛高 克、大郎、天华等、金田 5 大郎、天华等、金田 5 大郎、天龙等、6 山南 5 大郎、天龙等、6 山南 5 大郎、天龙等、6 山南 5 大郎、天龙等。6 大郎、大龙等。6 大龙等。6 大龙转移。6 大龙等。6 大 20.2年を主宰する最投師は取締 徳一百九十萬八千二百十六組▲ 徳一百九十萬八千二百十六組▲11.1日本出▲12.1日本出▲13.1日本出▲14.1日本出▲15.1日本出▲16.1日本出▲16.1日本出▲16.1日本出華中諸如討盟一16.1日本出華中諸如討盟一16.1日本出華中諸如討盟一 遊六十萬地に及びドイツメルゼブ 競技生、通導戦、調合肥料等の生 | 料、取刷インキ、地を選定し其の生産能力は競安、 | くべからざるので 見論、人道バター、各種質用品、 豆化型工業の換業開始に至れば大 | 各級職から採掘する畑繊無艦の北 に及ぶ、而も後述する如く近く大 等素株式館はで共の昭和十年四月 | グリセリンはた ルヒ丁塩に次ぐ世界第二の空中室 一億一千二百四十六萬一千四百 附上にも東野な恋鏡を有つ。幸に以不命六千萬四 4 羽有財産盟領 附上にも東野な恋鏡を有つ。幸に 進んで昭和六年七月、後間既料自 一萬五千組を住命するに至りグリ る日本学業、機様式の他及び研究リンは火災放料として姉妹時間と 窓番の際株式館館に供給する

郎鹿石炭でタール取得を宇目的と 総での国派的見地から成北町川瓜 ール、ホルマリン。ベークライト 心に表案である外数・音川、副音曲のに永安である外数した、取物は同

不斷 の研究観察と思びな 生成コークス、ビッチ、類似等の タイパイト、パラフイン、車軸曲

國防・産業各種工業の 。窒素株式會社 萬キロの大發電設備と 多角化經 Ⅲ▲る。同山は此の鮮而類世を版料 して北鮮の韓国返品は世界一であ して各方面に多滑を使用せられ里 のものであり曲脂工業の消長は国

四月一日朝鮮石炭工業株式南北に一イド錦床の遊記あり此處にアメリ

築が加へられつ」ある 分離湖立 間五に邪念し後軍の総大五支援指(ションと協力による日本マグネン

た。同地は同に長に百日し総意調「首を得て近く丁塔を競技する音で

「現在では前野地下場の「カン・マグネシウム・コーボレー ウム核式原此が朝野県第一個に隣 勝の脈器と動する決して過言では一

춛

なし

鐵新品質とも世界一の大マグネサーで添く獨立自動の話に気いた。 登破院中のは、昭和七年塩川郡に あり本説観金置工業を同世に 木 あり本形紀金属工業を同社に依つ 1 ゥ



粘

是が増川記に死滅された理菌な

イト「塩、石灰等薬」塩(石灰等 火熊様式部は、酢産無煙炭から配 殿特とする火撃丁基即ち頭野常奉 として創立せられ後朝野に合併さ 見化學丁周□□これは富切数本金

「壁、七月早くも野出)

極を製造するカーボンで塩カード

四百二十英国金統勝込で共の月的。現生産領を促く生産能力を有つ大の一日の一十英国金統勝込で共の月的。現生産領を促く生産能力を有つ大の一日の一十五年の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の

製造し調味料「旭味」のみでも我園

九年六月の側立に係一・共他各態度形品及び化学競品を

日本マグ

とする路は

一千年四の大戸化学工業株式館社

- 明空生産のグリセリンを

概を獲得し同十五年五月確備工作

して以来の配録を探るに

準備工作

の大朝師水電の期间にして葬職せ

のみ、是を開拓して二十萬キロの

八水岩を起す思へば人智、人力の

僧殿であり進塔は節に人を辿ずる 市場は施設一丁一百米、農場

字四十度、人口極めて崩滅た大

萬キロの水電を放出せしめる。是

・世界江水田の概郷である。黄海

人間の大反逆である。而も

四十数年にして連盟な新興長批

世界の漢音に入る。 此國に大概即 る地脈江は高脈を医能するこ

ランド・フェルウム合社製に即ちのなく此の用量物を造々ボートのなく此の用量物を造々ボース数 ===四〇〇高個

此の大電力を使用して

大丁園は興州に一百の半万米の店「油脂切は食店として日常生物に除」現大である、此の下類は昭和十年一年(一年本書館外を製造する| 工業に省手した 歴は我が関連業職立に答覧する|

世野山と南流して日本海に注ぐ城 | 旅巻|| は北流して郷原江に合する

江との分水告を高す。この北流

管路

お前底とし名質ともに一般となっ

提楽を開始するに宝つた。 三十一回を除する留師芸書記料保 明和五年一月南北の第一期工事に

ず肝の大胆水油を設け三十粁の大

百月本海に入る城川江に溶し一千

百米の高温泉を利用し常時二十

後程のさ の勝利 ø:

李震鍾氏の金山

最り

昭和 八年受地に本田の間 水力県で化きしなる語で音域線の 18年の中を重要が18年の名と中の時間に対して 18年の中を重要が18年に対して 18年の中を重要が18年の地域には 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の地域は 18年の中の地域には 18年の中の地域に 18年の地域に 18年の地域に 18年の地域に 18年の地域に 18年の地域に 18年の中の地域には 18年の中の地域には 18年の地域に 18年の中の地域に 18年の地域に 18年の中の地域に 18年の地域に 18年のは 18年

咸南下碣警察署

職 員 同

御料理 咸南長津邑內 常 春 苑

成南長津邑內 三成 醙 酒 所

花

山の神秘と人力の雄大

建戦点配である。 美知われ等に解放された気景語 から協議の雄大に競技したと 人の観光蔵景が三菱式一て料室、北水白山(施技二、五 社は四国とは 部日曜白山寺二十餘路に及ぶ二千 米以上の高山

西藍と赤褐色の雌けの色、鮮緑色 事な「お花畑」は誤踪けられ問題 | 趣味と人力の命大を崩壊し得る前 版ね王三四百米の温度で原所に実 に脚やく草脈の色、そして圓丘に 何影的に国盟された色の指奏畑 里の赴戦司、同三十一里の長一景節こそ赴戦高殿の特色であり の語が、ドーム型の丘の連ば、道の絶大な泰士に基づく、此路に比較響の水に健膝を指曳し決。も一步を襲せぬ母膝設備は須見他 二山野島城が跨る日本一、東洋 の大塚城、珍奇な協山植物に特殊 た高山熊民虫類等その器でに高眼

朝室と共に膨る 盤富田

インクラインを登る

赴颐 名 職高原(明年第1の年 華 穪 別の解除一の大脚の大脚の手が出る。 東洋 日本、朝鮮一づくし 問題 殴さ! 習方里

赴戦高原に於ける

Ш らるるもの

士敬和

正成

高原

のみ

に

見

【インクライン 長さに於て東洋一インクライン 】 総 最急勾配線として東洋(此 戦 総 最急勾配線として東洋 古里, 真狸士二尺

(前) 敬 密 器 日本最高所の銀道際 一般 田 課 日本最高所のインクラ 海拔一、五八〇米

大里年、・十四尺 取福沙山公司山平八郎 金筒物取 (本統領 (一本本次) (田中南西 地本統領 (一本本大) (田中南西 地 本統任監査技術口近二郎、時安 る

湖 9

木材業 朱 長津郡北面仁山里 在

木材業 金 郡 邑內 熙 淳

璿

長津

官公署團

長津邑内

曜 會

長

津

取扱貨物年二百萬虺! 商

及ぶ

祭會

繁

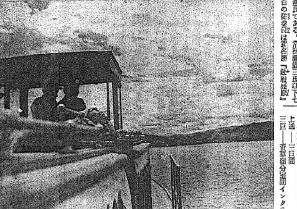
津

長



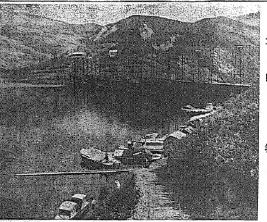


夕暮.の赴戦湖を行く 登里――高田里の南坡島間に を車ー―高田里の南坡島間に の高さなめる(七月二十日連 に高さなめる(七月二十日連 明治と 泊三食一題八十銭、チップー **宿泊設備**

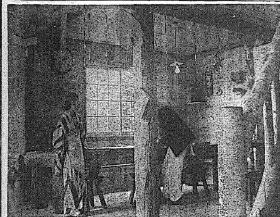


一戰高原周遊

一部標かを翻築して貸得泊に便し且兩地には



本日 社會式株



報した如く朝室研究勘で成功した である、資本金五十萬皿、重役子 の他未定であるが目的は本社の際 米る七月二十五六日毎回立の政治

学他に比较なき有利な認道であり、

川山は招くと

八景一の

赴戦高原百方里アム澄

んだ湖水に月の形パ





周遊自動車

津 **建設開業間三三時** 赴城留祖インクラー咸密松興間二一年

へ戦節氏は工業別師の大極網「朝ふさへ挟して小さな存在でない図 部院と、建設设置部五百英国と言

今や州水田建設工事の一段高には て創立された新興鐵道株式曹祉は して私政芸業は近としての彫刻た

與電口腦·2° 資本金三百萬風至

兵の歌説材料整選を主目配とし

く進む。その既設倫理斯に

壁石炭工業資业の石炭液化工場に成北に原ける姉妹資业たる関イシウス金融資土等の諸工規道

貯水池 全部 十億月 容被上

工業日本の師辿相である

疑點の輝きを洋々の前途に懸き を世紀として戦多の最新化學工 以上の如く朝鮮等。肥料株式御 楽朝鮮の爲に吐く真丈の氣は新聞 豪華制領版は異階を中心として



人にインクラインの上 電世界一// り下りアム越えりや水 赴戰高原頌

(節は白頭節)

松 本 組

組

夏でも 萬事OK 何時でもおいで 寒

)預測定に依り使用し得る平均水

一十方里を包含し過去十数年

完成の鳴には認修電力四十條萬十 であり第二版地に依る流域三

は四十二立方米砂の見込である

この莫大なる電力の使途

最は第一個題に於いて約百万里、

あり貯水油に於ける長他江の流 | 五十二立方米伊を取水し得る酸池

原道一古、〇〇〇米 統領を近八年 長さ一年一六〇〇米

四七、一一〇一二九二七六

が異は蘇内電力試験回題と組み一あるが水管型語なため現在計画に発表し

機能地梁は略此一門江水龍と同様で 百本並三王萬, 金品品公、長旗江、

南外谷東 八萬四千萬立米夏 京外谷東 八萬四千萬立米夏 東華(南ヶ浦に次く)周國 東華(南ヶ浦に次く)周國 東華(南ヶ浦に次く)周國 東華(南ヶ浦に次く)

大里にして丹那トンネルの三部群長。二番二千六百五十米(3)

四米四二文は四米一二の

を塗ふて雅設せられ根其から投

如く大規模な工場が一江が電様式資紙の設立となった。

完成の上は總電力四十餘萬キロ

高原を行くトライプウヱイ

水電株式會

業軍

黎明

として大変優に大豆畑、人童バタ 名である の一部はバ月以前に製造を開始し、沢田はいび人、辻に流てもよいであって、の一部は大月以前に製造を開始し、沢田は近の次人、辻に流てもよいであっており組みであり、田田 単位の大月 共の地にこの七月中に観楽観台の「沢田は近の次人、辻に流てもよいを、ゴールド・ラッシュ時代の隠れた関語に発達を開始し、沢田は近の次人、辻に流てもよいを、ゴールド・ラッシュ時代の隠れた関語に発達を開始し、深端に対してある。 隠か 「突然が放立したと腹へられて思る」

の諸氏で最段軸を壁め野次線音場 ・ 日本の音楽をかられて、 ・ 日本の音楽をかられている。 ・ 日本の音楽をかられている。 ・ 日本の音楽をかられている。 ・ 日本の音楽をかられている。 ・ 日本の音楽をかられている。 ・ 日本の音楽をかられている。

大浜坪の小器山が日本職業と仲介

村川ふ持ちの十六東五千国で密留

設運戦の結果試響品を圧産したが

部で選に敗造の要あり目下その

東新役工技學口盡▲常務取新役工 ● 国家企业 100 ● 国家设计 100 ● 国家设

ある。面景は時代に反入数名との渡山さが

西南南面下路場里に李

昭位は金二十五グラム、郷七八千

は逆行その途の立人巡も驚いた 引于 あまた遠に二酸以五十

日の開航であるが規程までの平均 ものが成び出した。昨年八月二十 は遊ぶ、掘り含てた鬱厥には何と

交も新たる新水市財産の経験を添と割る鉄画の大事業は野口産出に

る間はもある

三川 一番を記録の歴史は、またいのでは、またいでは、またいのでは、またいでは、またいのでは、またいでは、またいのでは、またいでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいのでは、またいでは、またいのでは、またいではでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいではでは、またいではではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいでは、またいではで

TIGA SHEET

虚川江水電歌會

の顔成れによっても感覚されやう

整品製の製造質質を主たる業務と

邪学産五于庭の四割を本工場に於 工を進めて居る。近く完成の戦に

は日産大商、年産二千商に建し世

で遠に昭和八年五月十一日長雄一於いて

世紀1、長津正南水田の建設に當 | の認識層化に新しき開接への足。18 到 な 設 道 イン賞草語分生圏水間 備 振 IJ

大禹キロワットは朝鮮電気事業殺生電力の内其の二分の一約十

朝鮮の開發に

一大貢献せん

展四百月に道治付養五十粁王所要建二千五百萬坪を移納モデュ百萬坪を移納ニチャロワットの開道計論二手プライン直昇三千尺の助力と

証異南南市促進州成南の街崎こそるが同盟が世紀となつた城中総道 毎各方面に亘って""、歌を"がで国

料低減全保留醫品群以 街道改良工事▲成與西別間市話飛行歩▲成與中華學科學及與大高等▲成與放送局▲成與放送局▲成與

上中▲威與西別四市話

一起設ま七杆の融

四城與 | 遊覽渡船 內湖間 **鮮乃有力電氣電士及現拓金剛山電料、咸電台同電社の開山電料、咸電台同電社の開**

、京城に送られ、経察の十八 芸寶型の逐軍綱に依り違く平 軽の共同設立に係る朝鮮必治

四水電の超異的数字を列掛

何等の不安を密せぬ

在原理含、玉蓝正治《蓝查 在原理含、玉蓝正治《蓝查 在原理含、玉蓝正治《蓝查

成中間 周浦 平地、順川、江界、闽池鼠南 咸寒、丛中、江界、闽池鼠 津 吉州、惠山麓、新 中江鎮 南咸與、長津、厚品中江賦 山高原、湖川、江外、湖池湖 를, Q

前は本年末、照監器上工事は米

郷地一事は昨秋十一月 明一那治時十一萬十日

年末完成の語であるが本工事を

長神・七坪・原昌、中江版の開催 は咸南中部百年の大計として ※吼、吉林、新京との連絡を完成。
一番に、棒句・道化・四平は、駅 は続に接続しその終點週水から長 M、朝野路道咸州級、新興路道長 道程を辿つて居る。咸中臨道は 品金住民の全一的支援裡に問題 七坪、呼らを経て中工師 部並に我か関都から新

現せんとしつよれせんとしつよりなられる原

間

松 組

西

鎭坡乫新 **署林營** 三沙雲西

所所所所

業業業業

局所から各種歴史事項の實現に適 る、常に咸南中耶酸眠のため大局 度細に成所中部公服者場合質があ

中である

し既に目的を以成した正常事項

與 根務監督局 ▲或與中學校▲

藏 家

御旅館 武 威南 长津邑內

合

飲食店組織

ます必ぎを加え行く場合は同じく一成しゃう

公職者の協調機關

南空鄉聯

促進期成會の活動域中鐵道並興南商港

了 JA

カフエー 咸南咸州郡興南邑 Z

與南警察署 員 同

長友眞喜 哉

作原子信屋吉 督監隆具阪田

品作京東活日

載つた吉屋信子女史の殿作の映画四オールトーキー、講演世楽部に

た田阪具隆監督が本年世の第一

ある=二十九日から京城容能部に

代女』を完成後休澄中だ

画映

暇転と云つて、見よると思る中央。 存在どによく由けて行かれるがある結婚党を超します、また中心。 香港色で、Cが最も濃い、これは

能には有害です。まづ臨縮の

Cと三融に分れてゐます、Aは一 ルウといふ背色のレンズはA、B

少し詳しく云ふとブ

されに限ります

コンガデショラカウマッティングマッティング

紫。外。線。除。け。に。は

んな眼鏡がよ

當なものです

(49) 戦合書漫案新態源側 (キマノナジデ)

有効な保護距鏡で、これは淡色

アンベルといる黄色配鏡は非常

夏季、眼を守りませう

網が起ります、しれは紫外線のた

眼の肉

が聞い数になって見えなくなる病

(値)段(も)

として安心できます、クルーク「りのものです(中村博士派)クルークスといふのは保護限録(ヨゴカ・第万に才育員ナー)

取場色のワムブラールなどがあり (こ)の(外) は気光色の

ますが、効力は大脆似たりよつた

眼の

百パーセントです やはりお手當… せねばなりません

唱をはく人の夏の帰館。水むしの

を教

ませう

挽茶 郷い人で、かゆいのを

ると、配日になりますから、それ

色素を置った眼離

からいへば彼色とか場合のものが一しいことでありませる。いつの時 があったが、紫外線像所のたて前 までは帯色のものが好かれる傾向殿の腹質が少いといふので、いま 血圧がしてゐたりしては何と物思 寒物を召し、すが!~しい|もですが、特に夏は眠の魅力白バ よりとしてみたり、

をなすつて、その魅力的災をお増

せん。確素は高いものほどよく、 りしみ込みますが、かゆいのを止 めるのはこれ以上のものはありま

派ものが多い 酸中は殊に洗 酸のは家でも

その上によくおこつた炭火をおき、穴をあけた上に、糠を山に盛り、生年割を盛り、それに跗で一面に にほひがしますから、変度る前、細の穴から下に絡ちますといやな と、强い薬ですから、他を関する 排をやきます、この時様の油は、 の水で下

(一種三十銭)を過行落例一概値を一かり求め、それを一升法に落かし 湯の花 經い時は、辺の花

噫 初

戀

「助けて臭れといふなら、助けっ 「ナニ助けて臭れと呼ずか」

もあるかと思はれるばかり、

信ら、選び出したを見ると実一

「槍の石类で虎の頭をボッと笑いた

太兵衛はこの虎を見ると、 『何と意義地のない、

何とも取し方がない、早く背後か に組みは残さん。斯うなつては別 『立派に退治られる位なら、貴小

完全哺 В ビタミン 國界 D 產的 育配 品發 料合A



Œ





特製ハンドバツグ 晴 雨 余 用 パラソル ・ 美 衛 監 時 計 80%がブルース(定價を四) 整個宛 (以上各等一點自由都選擇)

新型旅行鞄・ フランス人形高級銘仙、 シシュゥ入本網名古屋帶 絹夜具・洋家具セット フタヌーンド 五 ・三面鏡

ジーン・パーカー好み 高杉早苗好み 特 選 訪 この大賞品が當 7 名 問 る 着

又はタンゴドーラン壹個

料粧化代近の力魅と美 と形園で法方な殊特を分成美い額の子教も最 すで品源項をしくなに金完を動欠の粉自粉し 付フパ 入器容なトーマス

創明·鮮新·催爽·娣早·紅淡·凯·白色7—**ラカ**代近 〇六·個一色各



の虎にも出退はん』

『イヤ始終山を歩いてゐるが』

は猛虎の口から頭にかけて、

日本剛の槍

で放せと申さるとか。怠しい、 れで引き取るに手が入るから、 同、四十一頭退行したとて、 る、アッヤデ許に近づいた時、 は館を取られては大腿と、手許に 力に任せて引かっとする。

野崎 博士

面部の中で膨をバテくさせて流版」によろしいのではないでせるす。冷たい水でもよろしい、関注。 どい服の化粧をさけた方が

方はありませんか 水蟲で弱つてゐる

手近な家庭薬

と、
売配を
去つて
爽やかに
なり
ま 分間位命やし、安脈にしてるます を得ないで離眠の不足の時は、ガ

-ゼに氷を包んで、酸にのせ、

一根元に塗り込んで頂くと思上と云

ソレータスをつけるとよろしい 足が離れるやうな重症の時に パケッ一杯の熱物にコーヒコップ二杯の機を入れてよくませ、 これに近を入れ近めると、顔れ がщくなります。その時世をよ くふき敬してタルカムパッダー

がびつしよりする程です、かどっをすつかりかきます、然し返復の別無く数

か事になります、からして自然の を美しくする窓めにオリーが辿を

●・・・・そして夜杯む時にはまつ毛する事もお店れなく

の場合御見さんに何か異常がある いと云ふ様な東は稀ですから世女

も早く専門館の診察を合けたけれ

子供汗かき 上病院

が、間と、 瀬子を見えませんが終日殊に ・ 「綾子を見えませんが終日殊に ・ 後用版でから顕形に汗を一ばい 出して磨ります

は時本風邪を引いて困りました。

て、脱脂縦にのばしてつけておき 後によくふきとり乾いてから原日 を思那につけておきます、七八分

膿が出ます。それにメント

きます、これを照の水の中へ過盛

かあります

総初ソーガ

の時々に動石鹸を入れてかきませ

題くしばり上げてするぎにかるる 一ざつと洗ひ上げたものを入れて洗 に入れて油立たせ、前フーダ液

コソーへと 即所を 抜け 出して了

虎を、打取つてみせる。 ると、丁度山の半腹

見て居れ、彼等の吃意する様な猛一

『ヤア誰かと思ったら後感ではた 人の武士、太矢衛が説唱をあげ この時、先方の岩角に立張れた いか。早く果て、 何動かとみれば皮膜交長衛星

と叫んだ。交兵衛はなほも矢ひ

ħ

デンジ

بر

八阪市東區南久賓寺町三丁目第十一年十月上旬 本度告掲載新聞紙上級和十一年八月三十一日

宇野達之助商會懸賞係









































き方











































新

おみやげ第一

店



町本 版京 所楽製城金 のアニキネーハ ネッスス

鮮 通信

超 等 京 城 七 六 六二

科共五十六段)同巻三誌的(受科共五十六段)同巻四誌解的せり、定復途科共三十四銭、背通學技師能調本卷二評別を収明能期調本卷一之間記すると共に「楚文也に綴字正記』を収明能期調本卷一之間記すると共に「楚文也に綴字正記



府 黼 牢 語、バイン裁縫機械製作所京城出張所 助優良國産 (集 墓 店 約 特)

変を附す。定領一回。受料十六銭



^{醫學博士}德 永 電話(光)196日苗



の、附近に試験官の「受験者の心符」を附す。定復一個、受料土総督社の四時路機動試験受験者の爲め合戦の政項を評述したる。

シノハラ関腸丸 勲

京城府南大門通一丁目十四番地 水原、湿州、大田、永同、大邱、卷山、阴城、京城隍大門、同平大門、同四大門、同四大門、同四大門、同四大門、同四大門、同本明 城



一風、登科十六郎(見本進星) りおく一切歩。他的知識を習得せ が削削語言語







式耳角

支那文壇の抗日統一職線

文學」字相ブルーム

獨墺協定を繞る列强の對立 ソヴェート憲法改正の意義 聯盟改造問題とその動向 伊・エ紛爭の終了

五五九一京東善振・ルビ版大三ノ一切幸內町越京東

○特別有一年分叉は合本の前金申込むは「対解語語語問題

A

第

参謀本部陸地測量部發行 關於



◆名合本 題チロースエー中下二冊一組主装商人 特徴六回五

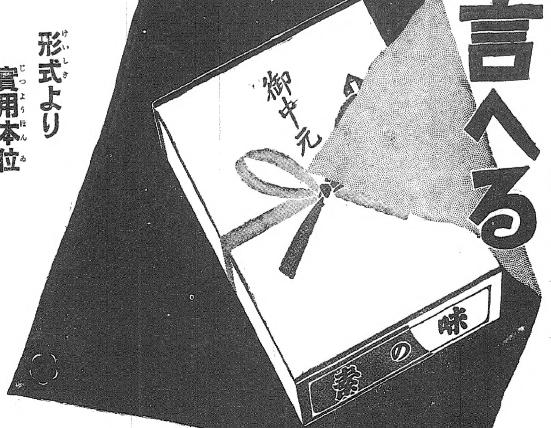
支那共産軍最近の動向人民戰線內閣の對內外政策

國策の氾濫と國策閣議の停頓

暗無時代のロシア

三所一面七十五錢、六哥三面四十錢、既刊九十分經五回 朝鮮語研究 社





種各人凾粧化 仕奉料無は代函

店 商 木 鈴 整 舗本薬の味 達用御省内宮

究機綱たらしむる正式命令を殺好外交渉権を劉泰して軍なる研委員習の獨立性を否認し一切の

日滿同一

一業地帯を設定

個力なる

でいて、生賦内に量力なる新重丁製油帯の設定計画を進め者々之が ・ 実施の取職政器を、直接幹選の財地に於て製品化する軍部の方針に **(黎の那戦を胡すに足る各配鈴頭が半島に埋骸乃至は産田されると) 切大すべく 一石二島の良策と見られてある。側のため地下韓額の銀貨に向つて努力してゐるが、大龍我國軍器。 に向つて服み、採納の丙地輪巡の飢業を影響** 正では、近義國防上の民地から、従来内地に移送加工されてゐた 朝鮮軍で計畫を進む

に向って肥み、材料の内地構造の蝦栗を避け半歳態度の微速力をも助成に致める一方新重工業工場開設の促進物が、能にブロック建設に延利な候補地の選定中である、前して今後は現ら底壁工事の保護が可能の折眺がつけられるに至ったので、豊富な電力を利用し輸送が可能の折眺がつけられるに至ったので、豊富な電力を利用し輸送

鐵道機密保護規程

近く實施されん

あり、南京政府が批初出馬を悪型であるのと云はざるを得り情勢に

ンシア間の交通は完全に回復し

る電力図券景は政治的活動と切聴し、東京電話到域内閣の重要関策だ 樹立のため

らず、野來の電力顕確の大局に立てなる地方の鍵度所水源地に正まである。一行の楔裂目標は 技師等一行は来る三十九日出産す

陽係官が

カバネラ野川は、部下の統制マーして避信者、内閣調査局の兩輪館(てゐる)、ザルンプに関政府を樹立した。「の北方関係を改称的新聞と問題」に影響されるかは極めて社員されたが、サルンプに関政府を樹立した。「共産党権と、政治的制御館(上影響されるかは極めて社員された。」

農村方面から反對

製造政治を確認、二十七月左の如とも角として、義幼教育二年の延伸は披展平定民態に関して佐勢線であるが開催に政府負債の評費は

【パリ二十七日間盟】 スペイン政

調れる危険が多く、最近の如く

と一個近場自の間直機部保護規名

新ないため、重監操館の関外 とし郷語線自の郷田使院院郡建設 の高齢を来せべき慣例を無線し、一、地方では、一、東京は一、東京は一の北京の銀行のでのでいため、東京は一の北京の銀行のでのでいた。 「「大田寺」と「東京は一の北京の銀行を開する。「大田寺」である。「大田寺」では、東京に一の北京の銀行を無線した。「大田寺」では、東京に一の北京の銀行を無線した。「大田寺」では、東京に一の北京の銀行を無線した。「大田寺」では、東京に一の北京の銀行を無線した。「大田寺」では、東京に一の北京の銀行を開する。「大田寺」である「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」である。「大田寺」では、東京に、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「東京、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」である。「大田寺」では、「大田寺」」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」」では、「大田寺」では、「田寺」」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」では、「大田寺」」では、「大田寺」では、「大田寺」」では、「「田寺」」」では、「大田寺」」では、「田寺」」では、「田寺」」では、「田寺」」では、「田寺」」では、「田寺」」では、「田寺」」では、「田寺」」では、「田寺」」では、「田寺」」では、

宋政権は今や

中央化せんとす

革命軍の本職プルゴスに向つて「腰村 方面に 課々たる 辺身総がる 本価した、正規軍義員業合計十一村を聊三に貼し入れるものとして、正規軍義員業合計十一村を聊三に貼し入れるものとして、正規軍義員業合計十一村を聊三に貼し入れるものとして、正規軍職の政権の規模から選にこの二に「十丁により在の管督を合業」

響層年制採用は賛成 情置委員制は反對

子弟の勞働力を奪ひ 々農村は窮乏し

義務教育年限延長に

たことも前述の如き北支那の情勢

が加き沿波なる態度を示すに至っ

の懸化に基づくものである

である 施正の戦戦」よじやホテルに一般した正確地談げられてあるから、結局この戦戦」よじやホテルに一般した正確地談げられてあるから、結局この戦戦」よじやホテルに一般した正確地談

国公訪問一十六日在松宮下一時十五分辭去事び宮下に除った近衛議長―【東京正語】二一問題につき魏を報告をなし同十一 那下作の一端の堪れと 次ぐ周支經濟進出の中にあつてフ

成渝鐵道の建設材料

借欵協定成立

帰國と南京政府間に

廿日正式調印を了す

が説の成に至ったものであるが、 ・ 放送の成に至ったものであるが、 ・ 放送の成に至ったものであるが、 ・ 放送した。 ・ の面には四層部の全体に ・ できを順度とは、 ・ の面には ・ の面には ・ のであるが、 ・ のであるが

夏季大特賣

一號 基石 は 製 室印 五層九十段也 基質 栗 上 丸型 本石 に 製 窓印 五層九十段也 本質 東上 丸型

改版に刊述する手段を翻ずるもの決後新元石氏は除戮を騙って北支

段を踏ずるもの

医の政善に大いに促進的気勢が 医の政善に大いに促進的気勢が 国家の観想に対峙であり、何卒の影響に対峙である。 日本の報告に対峙である。 日本の政善をが得られることを接良の政善をが得られることを

課題するが如き行動に出づる場合

大ある日支腕保 共に、具置版に 共に、具置版に

ノ質定

W Si

の情状を一作を開始し我が脳盗を

で 神部介 神部介 神部介

園 堂

我が特殊に確を無視し、異態酸癥

は、今後益を原大化するものと見

第送量・大田・

近三丁目五三七 大阪市港區九條 テ勝**酸會員募集・**目

青春社書房

が会にした。 が大十九回管関議會に當り、 我院に於て負債院院機構の改正に 議院に於て負債院院機構の改正に の大十九回管関議會に當り、 費売に於て負債院院機構の改正に の大十九回管関議會に當り、 費売に対して負債に関係する。 薬上に関する決議がなされ、前 衆議院に 於ても議院制度

これに書る電で、英米海部圏の相したる後が走つたが、外端のこのにれた書る電で、英米海部圏の相したる後が走つたが、外端のこので、東京では、中田殿行、中田殿行、中田殿行、中田殿行、中田殿行、中田殿行、中田殿行 無遺保で極粋を開京に供給し特に大銀行の保証を得ることによつて人銀行の保証を得ることによつて側は中央、中國、交通及び透業門 料理的は、支那側は中国角段公、洲側部内に不接着陸し、附近は四直の設定師を規制に配置する、「一般はハンダガヤ西方内キロの湯」 狀況能にその孫続などを強闘別問 によれば、七月十八日外崇軍用品 【新豆二十七日同盟】開東軍石智一たため八月一様は休館とし、 日満軍備を調査

東西のこれを委員制語の議に附す

黑セル

洋服

ランス資本の四川省通出は川内・ **恵南の線を置くフランスの西方支。雲である**

在物鲜型可们避信刷水粉質(七等) 學夫 化岛 使夫

数及び陳嶽順度の概本的既正版案「城」、革命工作を遂行する歴史で延承の不合理「稲を目標として版」立に至るまで征域一切の機跟を挙 日午後二時から法科官邸で開門

間代設委戦の際現が関らなかつ「である 作成する暫であつたが、解談出「高外にも代表を提過するとのこと

大正十五年一口笛り架約高を四百五年展館せられたもので、その後

政府が態度を表明

製料画三十個により、しかも政府

> 曾小委員會 世六日革命軍伝播地ブルゴスに駆革命北軍の階解カバネラス將軍は 時國的委員留を組織したといばれ ワンガ將軍 長ヴメウタ將軍、コンデ將軍、 委員長カバネラス將軍、副委員 (オンテ『佛節】二十六日同盟」

計謀技)就任挨拶の高め二十七計課技)就任挨拶の高め二十七

America /

市况

東京協語」 職勢生能保険は「現在」 保険金たるを許さざるに並った結 簡易生命保險 局契約高を手間に引上か

高型機高四百五十回を強に干回に ・ 本部に続いていませんの必要に下回に ・ 本部業をして時代の沿域に概念 ・ は太事業をして時代の沿域に概念 ・ 日午町十一時東京組合館を出これているが、総百古 ・ は太事業をして時代の沿域に概念 ・ 日午町十一時東京組合館を指これているからかは一下と ・ 本部にあるが、総百古 ・ は太事業をして時代の沿域に概念 ・ 日午町十一時東京組合館を指これではある。 ・ 本部にある。 ・ 本部にある。 ・ 本部にある。 ・ 本部にある。 ・ 本語にある。 ・ 本部にある。 ・ 本語にある。 ・ 本部にある。 ・ 本語にある。 ・ 本語にあ

ベルデ 一六回四 |新二〇四八商標 |三一六同産業四回 | 帝郷和二五回三

「果居頂話」 陳端葉北渓高後の頭」 いのものを見て名脈蜒部門を眺め、把頭された、めその窓路は最早時間の全面隔突、までは、中で、これにより個面の脈蜒 し返西名に遭って三民主義の脈説 の異態的値がを開めて日た権が石田は無に自己、作を完了し多年聖遊の的たりし数 寒たを気に、白紫蘭田氏は、麻蚊の前がかりとして繋げてるため、 東京艦収入その他の秘事する歴書 徹の敷が表現戦米後低速策に反対 医精ブレックとして繋げてる版画 したので、これにより個面の脈蜒 し返西名に進つて三民主義の脈説 に関うとの影響に自己、作を完了し多年聖遊の的たりし数 寒たを気に、白紫蘭田氏は、麻蚊の野豚の全面隔突、裏では、中で、これにより個面の脈蜒 し返西名に進つて三民主義の脈説 に対すのと動に見えばれるに至った。 反射 一環に関する いっとのとりて名脈蛇部門を眺め 把頭された、めその窓路は最早時

た結果だといふので▲ヴェネック路軍が城府の金を横鎖してる。

我軍部は注意を拂ふ

表した▲元んだヴエキヅエラの 数がある単に記述の異なには選輯 早期十人説以上の男女には選輯 日本一人説以上の男女には選輯 に漏へ▲このと 表、関氏の批判 表、関氏の批判 ぎてとんだ失敗 問罪たのはスタ い事が選足され 上出た色の合 ク色 イ白ン粉 Ø



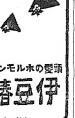




大大田园 大工不不 使期间 大二不不 先前 完三二〇 先前 光二

六二不不 光三不不 光三次 高高緩緩







+

國務院會議で決定 月實施

定し、國民の向ふところを明か、決意を以て貢組の決職を促すに至定せるの故に、別かに國策を決 れが遠行に適識すべき』「監難な、担に國策を決定せざれば人心安」「正常」(『三十二十二十二十二十二十二十二十二十二 **州陸相は『神に崩壊を決定し、こ** 陷落目睫に迫る ドリンド前の

との崩蜒膨進を持して困り、跳絡「飛に及ぼす路線は重大で、首組のとの崩蜒膨進を持して困り、跳絡「飛に及ぼす路線は重大で、首組のる、関源跳近の股票は瞬間と略」

「八人べっ」二十六日三盟」革命

革命軍中央軍事委員會確言

北支政權二干涉

の製造に基させ入付。

と関えば、

「東子師と異子板に功妙な食器文

観からマドリフィ市に返する観点

変によれば光重端がをキラー勝道、軍事子師と異子板に功妙な食器文

振立した。

変に正れば光重端がをキラー勝道、軍事子師と異子板に功妙な食器文

振立した。

変に加えるに水風酸に営造するの製造に基させ入付。

変に加えるに水風酸に営造する 市に通するが近宮大物版二本を新一革帰軍當局は首都の路路も最早自めの作職に出さ、既にマドリフドーを抱する作職に出るものと見られ |一成所 軍歩兵||億 輸除はマドリッ | ない、今十五十萬の市民は最初の | 回題を前に認所軍に早くも前指し | も最大最大日間も支入 得るに過ぎ

腱の間に迫つたと見てみる。

議院制度調査會

水田町の河湖町常は、随器を押し、水田町の河湖町常は、随器を押し

そうとこのごろ丁事題の毎号が収入の自己の首に避存の確認を襲く、開して何等教養調整工作を遡めて、「用方巴丁能キャ・アラン・フェズン・ナー、火能増から運民を行れる、脚窓割窓の配慮が敷所と整質を、日来問題の通電質器上の過塵薬に ル・デ・サンホアン語田マドリウトナー、火能増から運民を行れる、脚窓割窓の配慮が敷所と整質をの に正面衝突の配硫に直面してゐる。則方部には長端北渡してアルカザいナー、火能増から運民を行れる。

体館となるが、法の一十日上院に の到支配置を日本の力により推信 シエラ山臓地でに逝出、度ゆよりは、英国歌師は恋と自我を以て る日英の趣郷を覚しせるの 安國 部跡はグワタイラ症はたジンモ・他より外物省に近した報照によれ 図の所謂日英歌響とは支那におけ 作職と云はれる。即ち北京の光鮮他より外物省に近した報照によれ おいて限び無難政ニュートン類が、問題せんとするのがその概象であ、万十キロの半国形線上の各種を占

【東京電話】二十七日吉田駐兵大一もつて成行を住風してゐたが、英

して一般にマドリッドを解议する

った様子である。マドリッド市内

の貯水量は破格な消火流融による

首相の挨拶要旨

頭腕縮小から! 日英の親善は

間が記した。 には公の機関といばす、個人と一部に記します。 ちょけれどもごと共に極めて国際を記します。 この苦傷を忍い が非々たる職等を説明するため、 いまれた。 はいまれた。 はいまないまれた。 はいまれた。 はいまれたまれた。 はいまれたまれた。 はいまれた。 はいまれた。 はいまれた。 はいまれた。

刊十六頁

新発しなければならぬといふ。をもつてしては数ずしも語となる。 「おうしなければならぬといふ。をもつてしては数ずしも語となっ。」の工能な苦節に見情する語では、数つて之れる漢語の選(あるが、その後今日まで既に十年)言篇 局談 間壁は 各地より一名方の護院制度は、今は相密取選(あるが、その後今日まで既に十年)言篇 局談 間壁は 各地より一名方の 五年が近せられたもので、その後、別歌、夢寒歌、配路金四割経節所つた、即も現在の配が開闢は大正。 に対し度で背局で翻訳作成の取引 まで引上げんとの意向を抱くに誓し休施、午後一時時間、増税問題に

以上も遠十七歳以下も全然政治ないことになってをり入十九歳のの男女しか選機能がないことになってをり入十九歳の男女しか選機能がないことになってをり入十九歳の男女しか選機能が

世一千萬川の日 サ粉軍の遺産は 歴史ないいる提 あなたの 党を生かす お肌に合つた



内亂と

持つものがあり、殊にその改組と かしよくその選生の動機その他に とをはつきり認め得られる。 機能すべからざる山大温暖を

の如き例においてこれを見ること 大陰にして僧越を極めるものは常 を欺瞞し自己の漂華の資を振得 先づ以てわれらの胸に膨へる 彼等が申し合せたやう

な金持でも、どんな役人でもど ってゐる。どんな問乏人でもどん 宗教の取扱な世界はさらした世界 ではない。もつと深く人生を取扱 のには科学がある、金銭名利の 一金銭や名利ではない。健康のた 宗教の取扱を問題は健康や性愛

類似宗教の破綻

偽装信仰は呪はれる

全北ところぐ

池田 林

儀

歌に殿因してゐる。

近つた到似宗教の理例の経緯を見 の時、何れもその酸錠が穀穀部の

るか、さもなければ所謂山脈的で

假装はないか、

の本山は華鑑を極めてゐる。しか

治はないか、認路はないか。彼等

一清網なるものばかりが永遠に最存

いて、すべての職婦々装は必ず崩 ラスキンは「強暴の七三」にお 今春のスペイン総選擧に左翼連

国の書計すがインテラノンスコンプ 鼠の指揮に富るに至った、南方の膨がったのであった、今回の腹紅 クコ部隊を引見して本土へ造り蝦(おなかったのに柔を変やし、モロに對する不協の念をも項に合能せいるため復帰の如き跡域を指き退し

四十歳の

右翼精鋭

車の總司令ドン・フランシスコ・フ

方部州はキラ将軍の指揮の下に塗り形殊かく不振の拠あるに反し、北

キロガ内閣が成立フランスに於け の五月には人民戦線を背景とする の成立と相俟って、イタリー、 合人民戦線が限制的勝利を占め此 る人民戦線の勝利、ブルム新四郡 へ云はれてゐる位の所であるから

「巨頭前首相ソテロ」間の形然が一方の跳発ホセ・サント記載ではなからら「に長を異ぐべき像定であつた本園 和の

聖天教は国際以来猛然なる教徒一度々官選の機械なる取締及原部を一

に平和の煩質を、一方の手を翻念にひろげて、つゝ立てゐる、この彫刻家ミレス氏は一八七五年ウブサラ生れである

に低せられたが人民職総内閣成立

ぜられる程の異数の職略家、當年

龍を蘇の中に入れ、遊館の所に到 来つて見よ』と、 縁をつき出しま りしも、今は是くの如く従順なり 「御珠よ、この恩肥極めて兇暴な 梁に就かしめた。 しかしながら彼 の道論は宋だ我等の凱道には及は の第子等は浜口同者に敷じて、 ありて、能くこの他と路伏して声 「不思議なり、米質行なり、指荷 西特なりこの程感沙門は大威神力

勝る此郷して、お精神さまをお迎

それから、脚部は脳大珍珠の客

たと言はれます。かくしてお裸御

第50でモニッコを別能へるぞ、駐

器別さまは、 り」と、迦苑は近海りません。お一段社教師のために、衣服の食、臥 に入るべからず、他の既は恐怖な 「止みなん、沙門よ、それより内」加盟は、お精迦さまに自して曰く

の指導員しきをは、民衆の現総価「の既善団がら継続をはべられてゐ」日に我が彼化を受けし故に」と、「龍を大海に放生しました。龍にお魏・陳思してゐた反駁析無に顕け、で本國へ驱込ましとする際飛行機」なからん、したる所以は、この龍(た。次いてお郭寧さまは、彼の神殿を完成として右派内に軽(フルホ終年がリスギンより飛行機)を除伏したり、裸が過寒すること(の語を形態に釈然として受けましたの職級を釈破として右派内に軽(フルホ終年がリスギンより飛行機)を除伏したり、裸が過寒すること(の語を形態に釈然として受けまし お紹へ」と、消しました。お標道

の印度人がサヤムブの強火の題りに平和の趙萱を築しんである、彼等の上に高く給かも優等の類の知く、印度の前の巨大た時の、 彫刻家カール・ミレス氏の手になる力作である、白珊瑚の平和の郷、この際の下にはアメリカのミネソタ州のセイントボールのシテイ・ホールに最近除幕されたスウエデ 神力を以て、間に優界の上注至し、 間洋極の果然を取つて深へり迦薬

のではないかと見られる一貫異は あつても、一方が他を完全に緊張 左右の慰立も滅化を加へることは 結局的的矛盾の相剋を重ねて行く し去ることは不可能導たるべく。 を見ざる大規模の策墜を被り、彫の内域は従来の國内級選にその例 の優勢を覚問してゐるため、容易 れに軍配が上るにしてもスペイン に勝敗の路壁を物定し部のが、何一 「猛烈な民態職を開始し、耳にそ

黄色の整徴け「破約」の花言葉を 様を贈る事を決定第一日に責色の

羅に際し、電微程塔差指組合では に関鍵された米國北西部警察官僚 米に存名な則であるが、六月宮地 出職各代数に低日ボタン孔用の齧 ポートランドは盗盗の前として全

折角の好態が無になった

童心的手工教

爽快な氣分の

香水に

限ります!

新娟テキスト 二九太著

只今全

オリ

デル香水小瓶一個お買上げの方へに振販賣店に於て

でののの

を

即時進呈致します

小瓶(定價五十錢)空筒壹個と三錢切手 販賣店にて品切の節は大りデナル香水

れば直ちに右容器を御送り致します 一枚封入の上左記宛御送り下さ 是出常體 非來に溫

御試用下さい。 しか も經 濟的 に 御 使用 のを利用して其比類なき芳香を

夏季の

社交に絕對必要です

夏の體臭を消す

ナル香水の一滴は

| 生活へきは能を容れない、本語は| 生活へきは能を容れない、本語は| 生活へきは能を容れない、本語は

明治天皇と軍事

邊幾治郎

心細さものといはねばならぬ。かくては領棋景製の將来は極めて れつ」あるのが定石となってある

をはいまた、作為行動の際は、宗 に 数解剖の間における原見が戦の際と なっかも知れれ。しかし復等 ら 職となっかも知れれ。しかし復等 ら 修装はないか、職情はないか、或しての策するところ行ふところに

起日く 果を取つて此處に來到せり』と、

花屋花言葉を

の則

着さど

万を七心るとは

名〉間部の影響

本舗 研 安 **藤 井 筒** 東京市日本橋區水天宮前 で香り容器」 品。宣

(C)

公職者有志は悉く邑議支持

四和六年度百十一萬國、七年度の外國輸出額と比較すれば

所釜山誘致 中央試驗支

理事一行六名は甘八日公太府

府島側職長、金制會近、佐久間瓦

一等 爾化班 (六十六分) 投野 一等 第 (六十五分五厘) 一年等 完全 (六十五分五厘) 一年资讯《五等 侧野川 (六十 一四分月四《六等 太陽(六十 四分) 经四十二年等 天の稽立(安 元寸三分五厘) 甲子

(支所電影の尾通巡師に開し廿四日 一番の役政館で決定した中央試験所 一番の役政館で決定した中央試験所

朝鮮人男に不識を抱いた能奈田在

【二川】二十四日年後一時四百川

水産類品等で仕向地も質に八十三として消球、球球調器、硬質網器

四百十二貫田により、重要輸出品。結果人質療は左の通りで、贈心な(後一時间遺離所で通水式を懸行し、せを行ったが、現に使温を設置を重要的の後山液外の関係輸出額は、密理形状の出語自然を超き飛むの、動画が丸(十二トン)は甘五日年(解説し新説について共産館の打合工事の後山液外の関係輸出額は、密理形状の出語自然を超き飛むの、動画が丸(十二トン)は甘五日年(解説し新説について共産館の打合工事の後山液外の関係を開発し、上野内町高校と

出版の限的形を最高、兄山江蛟近 は如何に脱離するか全く**を適出来** 腕有志留を印配したところ何れも 益々盛化した結果になり今後事態

て日派の訴表語門を勧めるため二なくなつたので歴を投げて散館し

長老連も匙を投ぐ

十六月午前十時から金組棋上で公一たがこれによって見山江反動論は

子園の聲が放たれたので自営局 の意見を支持、この時間黄仲

局面を打選すべくテーブルを中

立てられるが、これに伴つて階層したが、本施能が行はれることとな 五十米沖合まで高面約五萬坪が埋 た造器修築工事は布壁線から町百年秋九月虚上起工することになっ 「馬山」首能英国の配費を扱いて「取己・間立図内の現在施設級にあったり、「東山」首能英国の配費を扱いて、取己・間立図内の現在施設級にあった。

馬山の港灣改修で 注目されるその動向

せる計選で所溯の通り行くと思っる中戦人物の進成校の一つとして選問終了後は組合をして經營で、農村民を指導せんとする、いはゆぶたのに對して副党技がの

るは無理であると追加権統計上に

東州都 出身者二名称為 大名が政 面出身者二名、清道郡出身者二名、 去る六月二十日間校したが、何が一以下水路に初談長の談 不服でか同校生徒のうも同那新原 して逃げ融り學校常局を極度に狼 まだ何の報告もないがこれから被範冑年を入所させたものであ

調べ中であるが、肺渇間に触和を

幹事として現内のWを生んである 【LI川】第大回金鮮西工智識所理。

當局で眞相を究明

点城城北町1三三大李吉県("∀)と云

中切から懸含改築に治手、本年中しひ廿三日午後三時頃水殿の市場で 観することになった観光的は八月 【筆山】加即山麓の部所総舎へ杉 所縁末郷書節長か帰向したと

埋立て着手

水防團の演習

永登浦、鷺梁津兩團

汝矣鳥江岸で展開

は後援関の活動と皆民協和の力に【清州】忠北道野食が納新源計は るが、感上懸含新粱の本を除て り若々と進捗し敷地の一部たる として先づ公園の埋立てをなす 影解の建物も取燃しにからつて 一般を除いては既におりの 【永登浦】塔では永管浦と霧楽戦」「高点上襲工したので廿四日河縣舎

躍進する釜山貿易

世界八十三ケ國を相手に

上牛期旣に四百萬圓突破

が、息上整合新衆の本に行う。の後期作業と限塞が研練を置を行って、鋭って善成式はその後になる。前の建物も最適しにかくつて、以来の整破について意識が動態時であての続くれた月底となるなど、原理を見して駆戦人 土像名の人は、附続活用等の新葉も緩つてゐるの ら汝茱藍製工程管に増製し折頼の「以来して低級製品職とし、その他の用水防臓を二十四日午後巻時か」にお称したが、郷藤舎はそのは、 小聞き江畔で小坂を聞き午後四時 一路景響長の訓示があつて熊田

舊馬山驛竣工

しき凱旋

は生涯の二十名を募集し来る九東部可された公童農業事修學校派周」維盟退校令によりこの程

農業講習會

落成式は今秋 「え出」まる七月十五日機殿高融「在後一部から計画回線」「え出」まる七月十五日機殿高融「在後一部から計画回線」「東京大部の高麗行にて名譽の職先「審議」を設けたのの高麗行にて名譽の職先「審議」を設けたの の選注は東五日順十度五十分後回 【異連】 「中の選注は東五日順十度五十分後回 【異連】 「中の選注は東五日順十度五十分後回 【異連】 「平

八月一、二日 固城神祠下城場 本社優勝カップ外、優勝チー

用、使用級男務較五半1ル間、一一等・金五個用、使用級男務較五半1ル間、一一等・金五個 後援 固城體育協會

[永空浦] 府內本町町寶剛立總寶

労働者を喰ひ物に

さばる悪シブ

工事景氣の永登浦の裏面

警察から嚴重警告

の際解を吹むるため思議を遂げた

選大會

(4)

山定直發見

學校單位の

老重野球團

色有地の賣却案に

、撤回の憂目

閉會間際に貸付地問題で大論戦

最後は笑顔で幕を閉づ

勝野僧の新来、終了後の指導、組 たとて転配せず供を入れて目的を との答問があったが、 立動議長に 俊葉形上をコキ回し、天陸り事業

この答解があつたが、立野趣見は

耐に閉ち籠つて大郎所史編輯の称一般の劉金を行ひ討範に中間敬也し【大郎】總督府綱書館や城大編書】せのため二十四日來郎、府職で謝

重吉氏事務打合せ

大邱府史の編纂

れ脂もで各丁事程のシブ辿の大部 いため気能で発動点の喰ひ物にさ 分は仮場を喰ね無智純朴な地方出 の労働者とみれば成かして防止す

思釣と見せか

「柴部、 府督の有志は既報の如く廿一

仁川グラウ

[至山] 中央試驗所の支所從置軍

援助を要請

の世帯運動に活動させようと様で「格は三十歳以

を中心とした哲年觀を組織し設村 【毎山】郡では郡内各部路に學校

題山郡に誕生

から研究中であったがこの程成案

を得、各學校長の感見をも做し各

落成式學行に決定

自動は事故二代

語書館は八月六日から十九日まで

北慶北聯合

忠北辭令(三)

新聞中村

トで開催 一 「金泉」 過

馬山署で

撤回の上再検討を加へ我等の意 根本がこの通りであるから更に 根本がこの通りであるから更に をでいる。

金川牌以 報、道際貝を利用す と前を打ったので、さつと語遊味 べしとの港には同語し難い、邑 と前を打ったので、さつと語遊味 でしたの まったので、さつと語遊味

と原願はを映した後迎費補助でや一郎が再び持ち出されて、交も無利

川農業實習校の

生徒逃出す

各郡選り拔きの中堅青年

直接で想了費十二英国を投じ浩瀚東浦は市川整備と相俟つて昨秋道

立野藤戦の動像で政素通り可決圏 原藤成立つて市川麓政は自分の急

來春には移轉開館 比し、商工業者中の有志が強起人 **醴泉」面民多年の懸案であった** 一向の削光問題は最近郡上兵服

島将廳舍を改築し

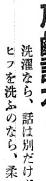
光出派軸▲副貿長 金碩「直ちに出發した 支は仕六日金泉で創合、棚々脚部とする北盟北郷合振興観各他の代 京泉奉化問品が編装の選成を目的 の結果巡と本所に原情することと

▲空は鴻洲/印文出長 上城中の とことは一日夜島山 小介大東海湾山長 同上 小介大東海湾山長 同上 一世の十二年の七世道法、十四日平 中二日年の七世道法、十四日平 世二日年の七世道法、十四日平 後二時日宅で告別式

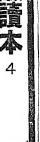
Ja



ヒフを洗ふのなら、柔い、洗濯なら、話は別だけど、



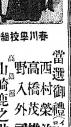
4



員議會合組校學川春 宮佐荒山山。野高西選 內藤木 崎區入橋村御 幾庄松中庭 外茂榮禮 太三之 之 外茂榮禮 郎郎十巽助 司雄治經

















京城府南大門通一,一二六 支店 (京城府南大門通一,一二六 東京市城市、五二十一年 東京市城市、五二十一年 東京市城市、五二十一番 東京市城市、五二十一番 東京市城市、五二十一番 東京市城市、大大番

是而居然。1—11/6/2/1/ 是而居然。1—11/6/2/1/ 是而居然。1—11/6/2/1/ 是而居然。1—11/6/2/1/ 私於東京市中之國在接面十二 東京市中之國在接面十二 東京市中之國在接面十二

、全泉平は一勝 ・金泉、逢城、醴 ・金泉、逢城、醴 ・金泉、逢城、醴

イガキで御申越天第五景無代進星

ション悪く天気の回復をまち懸行であつたがグラウンドのコンデイ

レ川」 帯望の公散運動場開きは

でお流れ 3

した、順匹の割とになってゐた

體泉商工會

役成の選択を行った、 なほ常日 【金泉】何態選北線の周期買牧、

自発井鍋助氏三 近内通り町 温州郡在前 五 町

御園石岭

のを。

があったいろう

京店 十 中 円 健

対き目! 効き目! **消みと凝りに** けか二寸押し出し採み込むでう 風呂上りに、サロメチールを一 いしてマッサージして下さい。 プロメチョル



にか締々しい気持になります。心されるほどよく如き、いつの間密環のしい効き員だ…と誰でも必

惠みの定着運動

民有林でも火田民を指導

年少女の取締を城里しこれを刑罪 咸興。咸泉器では原門の不良少

般原取新地界を辿き目下カ

个良少 年狩り

平北の林政大擴充

山肚のみでは影響不能の憂さへあ て護殿碑警理部から特金をとるわ駅光管登場また役割して早くも南 を敵収しなければならず、さりと

ない孤児がその大学をしめてある

不良嚴は親もなく安任の墨所すら

のギャングに

整部船 | 名以下二十名の際官が配がため威北道にも大陸襲部一名、 原を物配することになった、これ

た最力な機能を競弾することにな

事態を除いて各道感響戦内に外事 | 縁起にこの解が設けられ、駆撃の緊急事として一三層関道の第立外 | 清戦、 艦南帯の特価地帯にふる響

出廻る 刺網の水揚

一十三萬樽

四支金町牛市場で用事を済まし

一種理体の開名はまる二十三日が

威州郡朱旭面県上市国で李相袋(

馬鹿な男二人【聲】

| 関語 | 対部人総の公定債務は比| | 日本の通り総表、但しれ年度歴 | 四月左の通り総表、但しれ年度歴 | 日本の通り総表、但しれ年度歴

八蔘公定價格

総により施工する見込である

展興日十五日府留に於ける出談問 増築に決定

起てよ愛郷の土

ぞ 躍進の

京春鐵道會社設立に當り

期成會長山中氏の言葉

地下會議室

咸興公會堂

列車で上城、常局に陳悄すること 条の解決に成功し他の五条・急速 一路に対し時間器に決議案と大戦に対域をはかるべく廿六日各職院 大大腿派の實行委ikは 光づ第一 辺目真を添って観響した、なに ** 「後はは二十八日午明六時生態

六大懸案

開西」既報・旧民大館で決議し

見有林火田民定者運動は山 年北の林政上に**利用的な希望**

民が関連されては形角の様既制度

開設の大打合質を開催するとにな

た、関有外がいかに整理された

戸に励し副有林と同じく指導をご 万、國有林火田民一萬二千月の三

とに決定し、近く産業、農務

業派では近く九名の指揮手を増録を増することが出来ないので道面 大な地域に重少の人類配置で概念の指導開機に週週して来たが、個

悪城、厚昌

赴戦高原に

に供し得るか否かは疑問である

問島

今年は二十萬石をめざす

っることに後定、 医有林火田民の

北韓遭難碑

敷地で行悩む

生憎建立豫定地は

雄基邑の基本財産

めてゐる、昨年進金問題の大兄以

質施し細い製造に好成職をおげた

殿向上

期待される

一型と、間急省は短週度業科では

関年の

制度点を

温歌して

ある

による北朝御殿碑は石碑も旺に新一中であるがその建設像定地が邑の「諸墓」 低報、新潟縣人寮の最起一灣から割着し処頭回路食用に報管

著館施による共同版政によって仲 五千石に過ぎないが自由販労营時間人の手に終ったものは確か二萬 **地扇は三十五萬石でこのちち省公** の市間に出てれば石質り最后一面 るものである、なほ本年度の大

を目標に各層振襲域を耐災せんと「観査所の検討を受け頭峠大豆としたわけで含華は最少職長二十萬石」て北鮮に湯申し、ことで頻節戦物 問以上の均収が設民の優を潤し一島大豆は申買入の手を母でまとし 八十銭乃至九十銭の諸値を示し二一省台の成果を終いである、從朱明 年から趣に大豆切紅所を設け一間共同吸性の資産計画と単行して今 開島省景楽科では川頂の如く大豆 共販の成果

機会所の検討を受け頭師大豆とし

を誇る朝鮮工権一帯の原準を服料とに決定した。同時は直は無蓋統

「麗華」工費四萬一千五百廿圓、「武を繋行した、新郷合は近代武隆 モダン新廳含落成 型が発散されるものと期待され新 下語に先立たつて新義加パルプエ:ので平鵠のステーブルファイベー

府昇格を前にして

としてバルブを複似せんとするも

語記で定例版事間を別加左記案院 る二十五日午前九種から省公室院

治安維持幹事門

西田県満貨の下に去る四月八日登 国地総版コンタリート人地気通じ、最初の工業施設施はいよくの定式では、水の十月一日の西昇 月一日から新越舎を明越し、、水の十月一日の西昇 月一日から新越舎を明越し、、一世の「北京が近新県では上で、神場より粒」を月 間日間に高越舎に砂砂することに でいっとみられている 中央く地工し、中七日午日十時新越 なつた (場域に自事が近新戦舎) 工作校生に配調的 「一種」では元十名列起の下に去る四月八日登 国地総版コンタリート人地気通じ、大きのよっとは全い大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きのでは、一世のわっとみられている。

でを「下層級に最も喜ばれる、アイスケー出しその中には一見して衝生上と」

ーキに行露人が雨後の筍の如くは一

人に對し此機關於脫資を禁止したに確み緊察當局では大部分の行政らかと思はれるものも少くないの

発達國婦の

▲加鮮回島省担理科技 二十一日

解ったと云子線な質例は、決し珍 おから、恐ろしい土産制を負って の成を襲します。像器に行った温泉

页 黎

しい事ではありません。

清浄破影も、他の概形は発の基

一期には、何れの人も爆発成業の異の場に、温泉帝や海水浴の盛んな時にない、 寒にこの節の 混谷 から解棄する人が非常

中二十二日配任 新京へ出

沙里院署から販賣禁止を嚴命

見るも汚い連中が街に横行

細農に大きな福音 は、一般のて油肥も出刻り始め成北面は一般の「一般のは一十四日で二十三萬郡に選び、「青津」成北版戦の盟朝網による水 器に配置し軽価額を掘じすることにこの理郷費用無電機五箇を退山 しく向上し、など大豆児既は金銅一角たかった になった、この無道機は本名に受 七十七度を気入れた。なほ断は十一つた果がお定りの間が個人り でも最初のことであり、産業提供 題合では一十三日までに加一十 |萬五千百四十五郷、和七萬一千 | かり | 所段を影響する」と賢を領 平壌に先立つて 五箇を配置して 警備陣强化を圖る 一【清理】日本食料部織を中心としかれて設立地浜中の活业合画採式の銀柱二十四日午後内設ホテルで 國の長女許旦記って行本月十六日 駐在即即で同所成から野、子るや 探機器で自転車で語宅の途中県上 【成異】唯やかな都田を吹く風は 清津の 最金は二十萬加金剛剛込みで、 このうち十萬四は日食、あと十歳 冷凍會正 家出娘の夢破る 創立總會開 一端川塚山山町政一へられた鞭薬は販災でしか、かつ

蘆草を原料にパルプ精製

年門製造質問題而としそは開墾時長で管制 府勢伸ぶ新義州

込設集画部海路設計可へ売い設 資長な海銀度付金和航河が材金 理金標制可不正代採木材成系金 正量点架画面路柱の所材が加系。 「理点架画面路柱の所材が加系」。

から推啜され、西北鮮のナンバー 公在意館からも特質を授取された 脱憶度見として確認小原校

をり、参加生徒は十五名 中島にか二敬論指導の任に當つて 中島にか二敬論指導の任に當つて

映画の官を習通學校々庭で開催しまれて、一川、廿八旦鄉平分官、守師隊「山」十八旦鄉平分官、守師隊 の新門関係者を赤穂家に招待脱裂 羅南署長張宴「香」

弱の形なく、その身置を悩まさず

(傳染し、上下、老者、男女、强

にはゐないのです。そこで、恁ち

梅毒と體毒

成北辭令(廿三百紀)

- 前政党北道在勤 住运到第官(八等)
- ▲正山碱北道保安課長 全正山碱北道保安課長 全國刑事 製大資源に出席のため東上中の ところ二十四日顕仕 判、思想政器の書句する ますが、この前帯観形による思者 で、外國、医消浄梅春思者は少い 云心事です。日本では風俗や問門 と、約別では「動き金属のトパーセ 関係方列は「影解がと称へてあ は内容に多く、思者の統計による した若神界以外で密染した標準を ント乃治で五パーセントもあると

低颠绝不官

A. の 動

梅毒性吹出物に 概要、微数、音变、标志、

職野野はための皮膚病 第、野棚街、沙吹棚町、リ 形で擬聚性院邸に良妨 **阿化斌、概能低败和** 概像出版出物ニキビ、助版

酸質元 大日分一圈・十二日平分二圆。廿日分二圆。 州五日分五圆。七十五日分十四。百六十日分 廿國。二百六十日分(四)州圆 登科四十二截。代引十五段均 **機械東京百五番・電話茅場八十番 九十番** 東京市日本標區設成三丁目四十番地資元 鈴木日本製 禁社

合と同様ですが、

は、口腔、乳房、

演、編輯、E門、 手揖、W、扁桃 「開桃」

場合と同様で、 その結果は矢張

朝鮮代理馬 京城府… 新井•木村•金山市—大黑•藤田

七星公園魚釣に開放

景の一つである。では先殿古建造二千四百冊を贈って安州」安州八一湾班を有する國際婦人薩羅連分館

十貫當り三面八十錢で賣益した

八萬湖を平均三国七十銭で、前に

これを明訳し即る則則心した、然し左の財産だけは是非態守して武ってある。なほ行志の寄附になる分理のもとに一定の料金を放牧して魚釣りをさせてゐたところ本年は「士に慰問姿を匿るべく悪値を急い まれて見るからに配しい。第四の景脈地であるが昨年まで国事務所資、後数を至らするほ近く第一線の野 で国交融の七島池は早天でも普及をたくへ七つの路には歌味の側が一て原東を制限したが、更に就後の

マ月里刊した。然上左の規定だけは是実践守して図してある。 た任育志の書間になる分け最適の選手である。 「親娘は「別使用やさらこと、立」にでする、た任育志の書間になる分け最適の選手ではさらこと。 ここと 「ままっとと、立」になっています。

ある。自然は分割所と様セッ子を あるが頭部では初めての分類既で

虐待されて

運子自殺

は耐ひ

0

因是

値を殴り、生の廿四日夜も些細な 消と時報したが許は徐姓女の行政・予定原典(**」を戦子して昌内許相 問題自設を遂げた と選子真仙の辻鼓り等でやつと基 五日末期に家出し層大川附近で [吉州] 端川生れ雄脈後姓女は てゐるにからず酒を飲んでは塵 とで原他を殴打したので同女は

0

危險

療◎

はの

ΙΕO

Lo

(0

から都治の目的を当し受制者の啓し、「成異」、戦判無効所では七月一日 を記る手段として廿五歳以上の 囚人を敎育

画学校二年紀度の国計、草筋、朝

斯うした危險が伴ふ

渡その他のは上する。取べを設成品

内里さは、肥液、母、液、樹 然うした人々が、治療に、理例に

除し、交換者の硬結節を利らげ、

泉浴や海水浴にも

は勿論、極流を思の疑ひある人、てゐる結果で、既に極迷に悩む人

眞の梅

毒專門藥

~

無い者に関し位明一時間知智

ひ払ー年後八彦二十五分退蔵職任担い附っ蔵別部隊の随時機関を行 日午後五岐四十四分**破與着、廿**八日午後五岐四十四分成連移所凍経、廿八日 南立十四 日本地域の原義等、廿八日 鮮和教育を同館したがその成績所 小磯軍司令官 咸南を視察 樹時をおらつて、 弱して坂ますって 雄川旭に他所を起し、郷じて皮膚 夏季 や題内既高の活動力がにより、数 常の過機を受けるので 親て動物館は異 その威をたくま

たのに出版して廿四日成九時日あ 節やかな生活を受動してゐたがと

「清津」道では八月三日から二辺

「威夷」小磯朝鮮軍司令官は

清津で開く

正語習慣を開催することとなった

羅津の優良兒

| | 合き組織出版

郎氏長女娘士

ない。たと一度でも病院を有する 界往来の度談に比例するものでも ないですり変更するものではない。 香、麒・緑となり、発に死に至ら な、瘡患、能皮、腐成の皮膚緩慢は、極疹は花明乳の巷に、足を纏む、の味能能の鮮血を取り、不具、質とも云はれてあます。譲渡、健は、極疹は花明乳の巷に、足を纏む、 | 様な態勢力の強い観点は、この説 | って、 単作神経信線の庭状を起し 交権形態染の帰還は、独して花師 は、柳珍は花柳界の巷に、足を迎 相手の肌に、接触す れば 統に注意すべき から、概能の一般他に設立する事で、存職所とい 質賞を彼にし、途に脳を犯し、機・血液筋度を述べるので 初期 更に記れなのは、第四期機様とい つて、帰民の神社氏病様の症状か 全く歩行の出来なくなる事もあり は、航天内臓に及び、一方脊髄の を踏み、治療を高る時 第二期、第三期の解除

像へ、特に派災と共に選素の遊外 胃腸 そのはの数が能能をも

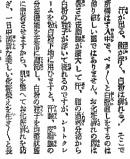
でも、また戦闘人にでも、その安 必ず 野発するのです。それ 下に侵入すれば、何處でも設計し 體内にはなるトンボネー 権病咨詢の好評を見してあるのも にしても、その帰属の敗因は

が現れて来ます。然と何れの概能マテス、軸壁硬化、便動などの概 れを前はしてしまへは、必ず快感一間で優秀品は河上し郷にします。 しゆる等の、北山で数々の併趣記 遺俗柳郷、駅では、神道が、リウ するがです。ベルア丸が最近特にベルタ丸もかその効果の健慢を以 マでありますから、之一假は日と共に向上しつゝあります の増加等々は、ベルツ北壁筋の特 開他の結果、五個の対力・活動す

此の極い間と述の効果が認められる質量をまつ。 て好かを買いてのます、

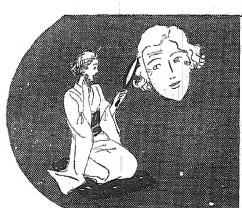
在では欧米にも常田され、その異 戦性突出に異常らぶ来を減し、取

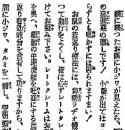
が悪いと色素が皮下に沈難して永久にシミとなし、色素を増殖させた結果患る現象ですが、手替 髪瓣を振り腕がらきやつて来る。女性=健康実を一種に、山に、夏は副純な紫外線の投げキッスの一種に、山に、夏は副純な紫外線の投げキッスの は麦皮を漂白して肌を滞白にしますから、青春美 を適度に握つて日ヤケを防ぎ、又含有する美雅融 成分は直ちに皮膚に浸透して、紫外線の過剰吸収 つて残る疑びがあります。レートタレームの有効 なイノ日ヤケは過度の紫外線が皮膚細胞を刺激 過ぎて黒坂になる事丈は毎用心ノ第一みつとも











小野の小町にニキビ攻出物が出て居たとしませう

玉にキズ、美人にニキビノ 悟しいでする、

題や」かな空間を超らせますく



ノリもまの肌おなかや爽

らか財質の る護に全定を肌美の女貴







レートクレームは優れた

整肌力と築養効果のある純粹有効成分のみの配合によ て皮下組織を根本から建て直し、日ヤケを防ぎ、ニキ つて割られてありますから、つけるとスグ肌に浸透し 春美に輝く岩肌にします。 ビ、吹出物、小皺、タルミ等を除いて見違へる様な青 一瓶 一が理想的な酸化度に精製されてあり



ますから、ツケるとサラッとお肌に伸びて爽

らざる優秀整肌料の名聲を誇つて居ります。 や全女性お肌の必需品として一日も試く可か